

# 京 佛

夏 季 号



京都市 廬山寺 重文 普賢十羅刹女像

京 都 仏 教 会

理事長 有馬頼底

常務理事 荒木元悦

宮城泰年

佐分宗順

理事 大西真興

安井攸爾

掃部光昭

北川隆法

北園文英

坂口博翁

澤 宗泰

砂原秀輝

田邊宗一

監事 山木康稔

評議員 岡本龍雄

川村俊弘

菊入諒如

小出量堂

小松玄澄

森 孝忍

塩見明德

多紀穎忍

田中惠厚

谷内弘照

戸田妙昭

華園源昭

町田泰宣

三浦文良

横江桃国

沢田教英

吉田清順

長澤香静

園部町仏教会会長 吉川憲隆

京丹波町丹波仏教会会長 岩波道一

福知山市仏教会会長 佐々木善数

綾部市仏教会会長 篠原紘生

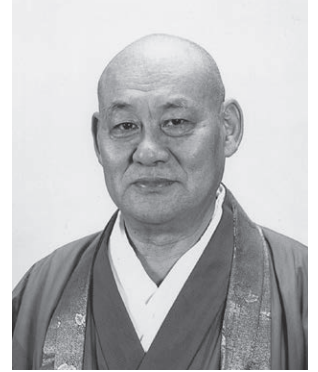
加悦谷仏教会会長 大紫磨正光

大江町仏教会会長 若田真樹

京丹波町和知仏教会会長 竹中成圓

三和町仏教会会長 岡田静峰

舞鶴東仏教会会長 越後義英



**理事長報告**

**平成29年度より  
一般財団法人に移行決定**

臨濟宗相国寺派管長

理事長 **有馬 頼 底**

謹啓  
時下ご清祥の御事と存じ上げます。平素は何かとご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて当会は本年も、京都府内の歴史的建造物など数多くの貴重な文化財を地震・火災から守り、保存し、未来へ伝えていく為の「文化財を守り伝える京都府基金」への協力。音舞台シリーズ、施設での護摩木制作等の文化福祉活動。文化財用材確保

の為の有識者会議への参加等を前年に引き続き推進して参りました。また、平成二十八年度はお花まつり各行事、こども花まつり、春秋彼岸焼骨灰法要、お盆の探燈大護摩供、師走の成道会等、例年の宗派を超えた仏教諸行事につきましては滞りなく実施されました。また、平成二十二年十月に発足させました「明日の京都・文化遺産プラットフォーム」もこれまで世界遺産条約四十周年京都会議、第六回となる「世界遺産ネットワーク会議」や記念フォーラムの開催等本格的な活動を行い、昨年は羅城門模型京都駅前設置を行う等様々な取り組みを実施致しました。本年度も立命館大学を事務局に種々の事業を行い、無形文化遺産シンポジウム、文化庁京都移転の為にフォーラム、こども茶会の実施に加え、京都の大切な文化遺産を多くの学生に理解を深める「世界遺産PBL授業」を大学コンソーシアムと連携し、文化財の保存と継承を行政と所有者のみならず大学や若者とともに地域連携をはかりながら、京都全体の文化的景観を周辺地域（バッファゾーン）も含めて取り組んで参ります。さらに伝統産業に携わる職人の若手育成の為のシステムについては京都府と構築し、神社庁とも協力しいい支援を行って参

ります。オフシーズン対策としては冬の「花灯路」、夏の「京の七夕」を本年度もオール京都で積極的に行って参ります。平成二十九年一月はあの古都税問題から三十年を経て、「古都税の証言」京都の寺院拝観をめぐる問題を刊行するに至りました。信教の自由を守る戦いであった古都税問題を通して、宗教行為とは何かを全国の宗教者に問いかける書物となっており、今後広く広報にも努める所存であります。また、当会に於きまして三十年来の懸案でありました仏教会の財団化につきましては、本年度を準備期間とし、来年度から一般財団化することが決議されました。そのおり、同時に「宗教と社会研究実践センター」も開設致します。これにより、宗教に関する種々の問題について当会は日本の宗教界各方面に対して迅速に、見解や方向性を発信し続けることが可能となります。本年も信教の自由・政教分離の原則を重んじ、各宗教とも情報交換を行い、各識者の方々とともに積極的に交流を行って参ります。

**青山元不動**  
**白雲自去来**

し、そこへ雲がかかることによって、山のありようが変わります。山という不動の世界があつて、一方に雲という変幻自在の世界がある。つまり山はたしかに不動ですが、それは不自由な不動ではなくて白雲が自由自在に行ったり来たりすることによって、実に変幻きわまりない不動です。「白雲自去来」一つをとり上げるならば、それは雲の自由ということです。これは、ものにとらわれない、執着しない心を白雲にたとえているわけです。しかし、「青山元不動」、動いてやまない雲の向こうには、厳然として動かない山がそびえている。山の不動は、その動いてやまない雲の存在によって、逆にいっそう強調されます。雲も、どっしりと動かない山があるからこそ、美しく眺められるのです。つまり、自由自在に動き回るだけでは駄目なのであつて、不動というものの、山という存在があつてはじめて自由があるのです。仏教会も財団化することによって、よりどっしりと構えつつ、宗教と社会研究実践センターからは常にメッセージを発信し続ける存在でありたいと念ずる所存であります。まだまだ厳しい暑さが続きます。諸大徳の皆様のご健勝を心より祈念申し上げます。合掌

# 国家神道と日本会議

——立憲主義の向こう側——

上智大学大学院実践宗教学研究科・教授  
同 グリーフケア研究所所長

島 蘭 進



## 神道指令は国家神道を解体した？

1945年12月15日の神道指令（国家神道、神社神道ニ対スル政府ノ保証、支援、保全、監督並ニ弘布ノ廃止ニ関スル件）によって、国家神道は解体されたことになっている。しかし、拙著『国家神道と日本人』でも述べたように、解体されたのは「神社」と国家の間の「保証、支援、保全、監督並ニ弘布」等の特別な関係であって、皇室神道とそれがもつ国民生活への影響力については、包括的な対処はなされなかった。

たとえば、今上天皇皇位継承の際の1989年（昭和64年）1月7日には、「剣璽等承継の儀」が国事行為として行われた。剣・璽及び国璽・御璽を侍従長が新天皇の前にある机に置く短い儀式だが、三種の神器を受け渡す儀礼に宗教的・神道的な意味があるのは明らかである。神霊が移るといふ「剣璽渡御の儀」といふ伝統的用語を「剣璽等承継の儀」と変えることによって、憲法の政教分離規定の範囲内のことにとどめているというが、かなり苦しい説明である。

このように、戦後も国家統合に関わる神聖な宗教儀礼が引き

続き行われているという事態は軽視すべきことではない。この意味では、戦後日本で「厳格な政教分離」が行われてきたという論は妥当なものではない。国家神道が国民生活に強い影響を及ぼす可能性は潜在しており、高まってきている。

## 国家神道の復興を目指す運動

国家神道が戦後も引き続いて存続しているというのは皇室儀礼が行われ続けているということに止まらない。民間団体に国家神道を尊び、それがより広い範囲の国民生活に及ぶことを求める運動が活発になされてきたからである。2012年に成立した第二次安倍政権以来、日本会議が注目されるようになった。

日本会議は1997年に成立したが、ようやく2010年代になって人々の関心をよぶようになった。日本会議は1974年に成立した日本を守る会と1981年に成立した日本を守る国民会議がもとになっている。このどちらの団体もほとんどメディアに取り上げられることはなかった。では、その間に国家神道を鼓吹する宗教団体はあまり活動的ではなかったのか。

そうとは言えない。たとえば、神社本庁を中心とした神社神道

（集団、すなわち「神道界」）はどうか。『近代神社神道史』（神社新報社、編刊、1976年）は「神道指令以後の神社界の活動」という章で次のように述べている。戦後の神社界が、神道指令に毒された日本人の精神気流を転回させるべく努めたその第一の運動は、伊勢の神宮に対する国の姿勢を正させる、いはゆる神宮制度是正の運動であった。伊勢の神宮（正式には「神宮」）は、いふまでもなく皇祖親授の御鏡を奉祀する天皇祭祀の宮社であり、その皇室・国家との関係は、遠く古代から大東亜戦争の占領時代に至るまで二千年にわたって、いささかも変ることのなかったものである。

この大切な神宮が占領軍の政策によって、その皇室および国家との公的関係を断たれ、戦後は単に民間の一人法人として取扱はれるやうになった。それが神宮の本質を損ふものであることはいふまでもなく、占領が解除されたのち神宮の本質恢弘・真姿顕現の国民要望が出てきたのは当然のことであった。これがすなわち神宮制度是正の運動であり、それは結局、昭和三十年十月、当時の政府、池田首相の回答によってその運動目標の精神的中心点——皇位と神宮

との不可分の関係——を明確にさせる成果をかち得ることができた。(277ページ)

### 立憲主義と国家神道

国家神道の復興を目指すこうした運動は、戦後の立憲主義的な体制を脅かし、信教の自由、思想・信条の自由、学問・言論の自由——総じて、良心の自由——を脅かしかねない傾向をはらんでいる。戦後の公共空間は、国家神道体制に郷愁をもち、立憲主義的な公共空間の地位を低下しようとする勢力による攻勢を受け続けてきたのである。

そもそも戦前において、国家神道は立憲政治と相並ぶ国是として存続し、国家神道の政治的地位が高まっていくにしたがつて、立憲政治は掘り崩されていった。「統帥権の独立」を掲げ所に陸軍は政治力を強めていき、神聖な天皇の意思を体現する組織という建前の下で「軍部の独走」へと向かった。この「軍部の独走」は政党や財閥の権力をきらい、民衆の意志を反映している。軍部は貧しい民衆の意識をくみとりつつ、「天皇親政」という名の下に軍部独走へと向かった。秦郁彦は『軍ファシズム運動史』(復刻新版、河出書房新社、2012年、初刊、1965年)

で次のように述べている。

日本ファシズムは、ナチスやイタリアのように、下からの大衆運動という方式をとらず、軍部、官僚のような国家機構によって推進された点から、典型的な「上からのファシズム」とされている。すなわち政党運動の拡大によって外から政治権力の中枢に接近したのではなく、本来権力行使機関である既存の国家組織がそのまま転用されて、新たな政治使命を付与されたのである。しかも新たな政治体制に対応する機構的な編成がえはほとんど行われず、人的配置転換もなかった。／もつとも、満州事変の前後では、農村を中心とする請願運動が拡大し、比較的に下からの運動という色彩も出るが、これもやがて主流である軍部の運動のなかに吸収されてしまった。

(15ページ)

立憲政治を弱体化させ、軍部の独走による軍国主義・全体主義へと向かっていく過程で、軍部や官僚層とともに民間の国家神道運動が果たした役割は小さ

くなかった。そして、軍部や官僚層も、神聖な天皇(国家神道的な理念)を掲げることによって立憲政治を超えた権力行使を行っていった。つまるところ、神聖な天皇を掲げる国家神道、当時の言葉では皇道主義こそが立憲主義的な政治構造を解体させていったのである。

### 第二次安倍政権と国家神道の現在

戦後の国家神道復興運動は、日本国憲法を改正し、できるだけ明治憲法体制に近づけようとする意図と不可分のものである。そしてそれは、国家統治において、立憲政治がもつ地位を低め、神聖な国家と神道的な要素を強めようとする意志と結びついてきた。

このように考えると、ケネス・ルオフの以下のような評価はやや楽観的であるように見える。

私は戦後日本の国家の状態が中立的だとは思わない——日本は右寄りに動いていったのである。(中略) 神本庁の考え方は左派政党は言うまでもなく、自民党の考え方もしばしば食い違う。米国の最右派団体、キリスト教連盟と同じよう

に、神本庁は個々の市民と国家との間に位置する市民社会の中に確固たる位置を占めている。

そして八〇年代後半から九〇年代にかけてキリスト教連盟が活躍したように、神本庁もいくつかの綱領に關しては幅広い支持を得られる力を持つことを実証したのである。(中略) 多くの自民党政治家は票や寄付に結びつくため、神本庁のような団体の支持を取り付けようとしているが、それでも神本庁の綱領が法案段階にまで達するのはごくまれである。建国記念の日と元号制はそうしたまれな例といえよう。

(274～275ページ)

2012年に第2次安倍政権が成立して以降の日本の政治状況において、立憲主義の地位の低下が顕著である。そして、それは天皇崇敬を掲げる日本会議の影響が強まる自民党と安倍政権によって押し進められている。これは、戦後、日本国憲法の下で曲がりなりにも保たれてきた立憲主義的な公共空間の前提を著しく脅かすものと言わなくてはならない。

# 京都市歴史的景観の保全

〔京都市の歴史的景観の新制度である〕  
〔事前協議義務導入について〕

京都府立大学副学長

宗 田 好 史



京都市が新しい景観政策を始めて十年、その成果で町の姿が大分落ち着いてきたように見える。とはいえ、昨今の外国人観光客急増、都心マンションや町家価格の高騰で、成果は様々な副作用を招いてもいる。そして今年、京都市は歴史的景観の保全をさらに進化させるためより具体的な施策の素案を提示し、今も広く意見を求めている。

二〇〇七年の新景観政策は、その後継続的に効果と影響が丁寧に検証された。検証作業の中で特に議論されたのが、世界遺産を含む優れた歴史的景観を誇る社寺の周辺である。境内の外とはいえ門前の、また境内から見え隠れする周辺も取扱い上は一般市街地である。社寺への眺め、社寺からの眺望はより丁寧に配慮されるべきだとされた。一九九四年に世界文化遺産に登録された社寺、今後追加登録が望まれる社寺の周辺では、海外の専門家の関心も高く、京都市民の間でもよく話題になっている。

そのため、今回の制度改革のポイントは三つ。第一に現在の眺望景観条例により社寺周辺の

眺めを守る範囲を拡大、その上で、建物・工作物は地域ごとにきめ細かなデザイン基準を定め、それに沿って建築主と市役所の事前協議（景観デザインレビュー）をしようとする。第二に周辺に定めた範囲の中で大切な歴史的建造物や樹木を予め指定しておく、その保全のため助成を行う。第三に社寺本体とその歴史、周辺景観の特徴を分りやすく伝え、建築設計に求められる配慮を示し、周辺住民と事業者の納得の上で景観まちづくりを進めようという。

現在の眺望景観条例ですでに北山・圓通寺庭園の借景、比叡山の眺めがよく守られている。広大な岩倉の市街地で毎年何十もの新築・増築工事ごとに丁寧な検証が行われる。電柱や携帯電話のアンテナ等の工作物の申請も義務付けられている。圓通寺は山並みへの眺めとして定められた市内三か所の視点場の一つ。この他にもしるしの眺めとして大文字等七か所、境内の眺め十七か所、水辺の眺め二か所、庭園からの眺め二か所がある。今回の提案ではこの十七か所の境内に加え、大徳寺、北野天満

宮、相国寺、妙心寺、東本願寺、南禅寺、平安神宮、知恩院、建仁寺、東福寺の十社寺の境内が加えられる。いずれも世界文化遺産級であるが、さらに加えられるべき社寺も残されている。

また、今回は借景の眺めに限らず社寺境内から見える場所として全方向に五百mまでの範囲内とした。また社寺を見通す二百mまでの長さの参道沿いが対象となり、その範囲での建築行為で市との事前協議が必要となる。デザインレビューといって景観アドバイザーと市の担当者が事業者、社寺とその周辺の自然、町並み、その街固有の無形の価値の守り方を伝授する。文化力を欠き、技術が低く、歴史的景観を壊しがちな建築・不動産業者に正しい理解を求めることで、京都の歴史と社寺への市民の尊敬の思いに配慮してもらおう仕組みである。同時に、駐車場設備と車庫、垣・柵・塀・擁壁等の特定工作物、電柱、標識、街灯、舗装、側溝等の道路内工作物への気遣いもデザインレビューの対象となる。だから、府市等公共が設置する物も批判に晒され、より相応しい意匠に

整えられる。

十年前に新景観政策が始まる前に、そんな厳しい規制がかかったら建替えができなくなるのではないかという懸念があった。10年を経て杞憂に終わったことが理解された今回はそんな懸念はない。社寺周辺の景観施策を充実することで、その土地柄がよくなり、住宅の価値が上がる。実際この10年間に景観政策効果で市内の地価が上がったことは皆知っている。有名な社寺の周辺に住むことは羨まれこそすれ、決して不利にはならない。

これは、何も京都に限った事ではない。西欧先進国の歴史都市でも教会や修道院等の宗教施設、古代神殿等の遺跡の周辺の建築に厳しい制限が掛かっている。しかし、文明国の歴史ある都市らしく、時代が変わっても崇拜の念もち、人々の信仰心への敬意を大切に。周辺に昔から住む人、そこを選んで移り住む人々はその敬意ゆえに市民から一目置かれ、多くの人々の憧れの地となる。由緒ある教会の鐘の音が聞いて暮らす喜びである。

これは西欧でも教会の多いフ

ランスやイタリアの話であるが、両国でも市民革命や国土統一運動期は宗教施設受難の時代であった。フランスでは、司祭や修道士が追放され取壊された教会も多い。我国でも明治維新直後の一八七一年と七五年、二度の上知令で各地の社寺領が時の政府に没収された。版籍奉還で幕府や藩からの所領安堵が失われ、地租改正で土地に税を掛けるためであった。許された境内地は祭典法要に必要な場所に限られ、それ以外が全て没収された。『清水寺史』には、七二年には十五万坪が残ったのに、七五年の二度目で一万四千坪まで減らされたとある。その七十年後の敗戦では、GHQの指示で官幣社が廃され、国家と社寺との関係が断絶された。そしてその戦後も早七十年、京都の市街地は拡大を続け、高度経済成長を経て、社寺取巻く環境も大きく変わった。

その戦後の急速な市街化は、明治維新や敗戦の影響にも匹敵するほど大きな影響を社寺に与えたという人も多い。東京・大阪ほどではないとはいえ、京都の戦後70年の人口増加も著しかった。企業も成長した。住宅は三

山の麓まで広がり、街中には高層マンションが建ち並んだ。オフィスビルやホテルの数も戦前の比ではない。古くから全国の人々の信仰の地であり、我国の歴史の舞台でもある社寺への敬意も配慮もなく、普通の大都市のように都市開発が進められた。それが一九九〇年代中頃から変わってきた。バブル経済の崩壊とか失われた二十年と言われる現象で、まず経済成長が緩やかになり、やがて人口が増加から減少に転じた。ちょうど百五十年前までの江戸時代二百七十年のような安定した時代が変わってきた。これは、我国の近代化が一段落し、京都が本来の姿を取り戻す時期を迎えたことなのだろう。それは京都だけではなく、全国各地の歴史都市とそこに暮らす人々が競争と混乱の時代を終えたことを意味する。争ってまで豊かになるのではなく、足るを知り平安をえる本来の生き方を取り戻す成熟社会の到来を意味するのだろう。

くどいようだが、西欧諸国は一九七〇年代に人口減少と経済低成長時代を迎えた。だから歴史都市の保存を始められた。宗

教施設も大切に保護された。その時代、急成長を謳歌し米国に次ぐ経済大国を誇っていた我々日本人は、西欧諸国を蔑みこそしないものの、一抹の憐れを感じていた。しかし違った。今我々が成熟し、安定期を迎えたから分る。すでに十分豊かになった我々にとつて、経済が成長しないからこそできることは多い。町の姿を整えることもその一つである。整える時には、古くからそのお姿に慣れ親しんだ社寺と境内地が拠り所になる。元より人々の心の拠り所なのだから、町のあるべき姿に落ち着きを取り戻す住民は多いだろう。

新景観政策十年の節目に、新たな具体的施策が加わる。社寺からの眺めを守り、周辺の建築デザイン規制を整える。そして、町の姿を整えるために、景観上重要な建造物や樹木・境内に支援をするという。市議会でも言われたように、支援とはアドバイスだけでなく助成金も要るだろう。今回の改正は、これから百年をかけて整える古都京都の再生策となる。千年の都の歴史と信仰への崇拜の念が市民の間に広がっている。

## 平成29年度開催

## 文化財保護の巡回よろず相談〔無 料〕

文化財愛護  
シンボルマーク

主な対象地域	実施日時	実施会場
北 部 ※丹後地域	9月6日(水) 午後1時～午後4時	京都府立丹後郷土資料館 2階「研修室」 宮津市字国分小字天王山 電話0772-27-0230
中 部 ※中丹・南丹 地域	9月7日(木) 午後1時～午後4時	市民交流プラザふくちやま 3階「ギャラリー」 福知山市駅前町400番地 電話0773-22-9551
南 部 ※京都市・乙訓 ・山城地域	9月8日(金) 午前10時～午後4時	ルビノ京都堀川 3階「朱雀」 京都市上京区東堀川下長者町下がる 電話075-432-6161

※地域に関係なく、都合の良い会場にお越しく下さい。

指定・未指定を問わず文化財を所有されている京都府内の方を対象に、文化財に係る修理や保存方法、補助金や貸付制度等あらゆる相談、案内を一つの会場内で行える「文化財保護に関する巡回相談事業」として毎年、無料相談を実施していますので、ぜひご利用願います。

### 《 相 談 の 事 例 》

- \* 建造物や美術工芸品などの保存・修理の方法
- \* 防災・防犯施設や収蔵庫の整備
- \* 補助金や貸付資金（長期・低利）の対象と申請申込み手続き など

### 【 相 談 参 加 機 関 】

- 京都府（文化スポーツ部文教課、各広域振興局）
- 京都府教育庁指導部文化財保護課
- 京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課
- 京都市消防局予防部
- 公益財団法人京都古文化保存協会
- 公益財団法人京都市文化観光資源保護財団
- 公益財団法人京都文化財団〔主管〕

### 【 協 賛 】 京 都 文 化 財 防 災 対 策 連 絡 会

\* お問合せは、(公財)京都文化財団(文化財保護基金室) ☎075-213-3660 まで



事業・活動報告

平成二十九年一月一日〜平成二十九年六月三十日

\*は当会主催の行事・会合

平成二十九年度

一月 六日 西陣織工業組合新年総会出席 於 西陣織会館  
\* 一月十六日 墨蹟展開催 於 聖護院門跡

一月十八日 不活動宗教法人対策会議出席 於 東京・都道府県会館  
一月二十二日 文化財を守り伝える京都府基金」緑陰講座 於 三千院門跡

一月二十四日 J R東海「天龍寺に想いを寄せて」世界遺産対談 於 天龍寺  
一月二十八日 京都中央葬祭業協同組合新年会出席 於 きのぶ

\* 一月三十一日 『京佛』新年号会報発送 於 京都仏教会事務所  
一月三十一日 ICOM京都大会(〇)九京都推進会議出席 於 平安神宮記念殿ホール

二月 五日 大本山妙蓮寺貫首松下日肆師本葬参列 於 妙蓮寺  
二月 八日 京都・花灯路推進協議会幹事会出席 於 東山区総合庁舎

二月 九日 京都市歴史的景観の保全に関する検討会出席 於 京都市国際交流会館  
二月 九日 韓国仏教文化事業団宮城泰年常務理事訪問 於 聖護院門跡

二月 十三日 文化庁移転準備会議・文化庁京都誘致協議会幹事会合同会議出席 於 京都商工会議所  
三月 一日 全日本仏教会人権問題連絡協議会出席 於 東京・明照会館

三月 三日 京都・東山花灯路(〇)七オープニング出席 於 清水寺大講堂円通殿  
三月 四日 文化財を未来につなぐ有識者会議感謝状贈呈式出席 於 奈良・法隆寺

三月 八日 明日の京都文化遺産プラットフォーム主催「古都京都の文化財」ネットワーキング会議出席 於 立命館大学朱雀キャンパス

三月 十八日 京都市深草墓園春季慰霊式典列席 於 深草墓園  
三月 二十一日 京都府「技の継承」事業専門家会議出席 於 祇園祭山鉦連合会

\* 三月二十二日 NGOネパール「虹の家」災害支援金贈呈 於 京都仏教会会議室  
三月二十三日 京都市観光協会理事会出席 於 京都プライベートホテル

三月二十四日 京都市歴史的景観の保全に関する検討会出席 於 職員会館かがわ  
三月二十七日 京都文化力プロジェクト実行委員会出席 於 京都ガーデンパレス

\* 三月二十八日 春季彼岸焼骨灰供養法要開催 於 建仁寺  
三月三十日 京都文化交流コンベンションビューロー評議員会出席 於 京都商工会議所

三月三十日 全日本仏教会宗派代議員会議、都道府県仏教会・仏教団体代議員会議出席 於 しんらん交流館大谷ホール

\* 四月 八日 おしゃかさまを讀める夕べ開催 於 ANAクラウンプラザホテル京都

四月 九日 一般社団法人文化遺産を未来につなぐ森づくり会議設立総会 於 東京大学農学部弥生講堂アネックスセイホクホール

四月二十日 即成院恵心僧都源信祖師入滅千年御遠忌法要参列 於 即成院  
\* 四月二十一日 こどもはなまつり開催 於 京都仏教保育園協会

四月二十六日 京都仏教幼稚園協会花まつり園児大会出席 於 みやこメッセ  
四月二十七日 京の七夕実行委員会幹事会 於 京都商工会議所

四月二十七日 ホテルグレイスリー京都三条オープニング出席 於 ホテルグレイスリー京都三条

四月二十九日 安養寺開山恵心僧都源信和尚二千年御遠忌法要参列 於 安養寺  
五月十九日 京都府宗教連盟常任委員会出席 於 立正佼成会京都普門館

五月二十一日 慈照寺開山忌法要参列 於 慈照寺  
\* 五月二十一日 第十七回国家と宗教研究会開催 於 承天閣美術館

五月二十三日 全日本仏教会加盟団体説明会「厚生年金問題について」「仏教に関する意識調査について」出席 於 しんらん交流館大谷ホール

五月二十五日 社会を明るくする運動京都府推進委員会出席 於 しんらん交流館大谷ホール  
五月二十六日 京都市観光協会定時総会・理事会出席 於 京都府立総合福祉会館

五月三十日 三千院門跡御儀法講参列 於 三千院宸殿  
六月 二日 清水寺国家安泰世界平和祈願献花祭参列 於 清水寺本堂

\* 六月 八日 第九十三回理事会開催 於 京都仏教会会議室  
六月 十日 犬鳴山七宝瀧寺管長東條仁哲師瑞宝双光章受章記念祝賀会出席 於 京都市観光協会定時総会・理事会出席

六月十三日 京都市観光協会定時総会・理事会出席 於 リーガロイヤルホテル京都  
六月二十一日 京都文化交流コンベンションビューロー評議員会出席 於 京都平安ホテル

六月二十六日 京都・花灯路推進協議会 幹事会出席 於 東山区総合庁舎  
六月二十八日 一般社団法人自然環境文化推進機構理事会・総会出席 於 即成院

\* 六月三十日 平成二十八年度理事・評議員合同役員会開催 於 承天閣美術館

# 平成28年度 京都仏教会決算報告書

前期繰越金 707,929 円  
 当期歳入総額 59,445,379 円  
 当期歳出総額 58,984,793 円  
 次期繰越金 1,168,515 円

自 平成28年 4月 1日  
 至 平成29年 3月 31日

【歳入の部】

(単位：円)

款 項 目	科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
	前 年 度 繰 越 金	707,929	707,929	0
1	会 費 収 入	3,200,000	3,509,500	309,500
1	会 費 ・ 賛 助 金	3,200,000	3,509,500	309,500
1	1 一 般 会 費	2,400,000	2,452,500	52,500
1	2 賛 助 会 費	800,000	1,057,000	257,000
2	活 動 協 力 金 収 入	29,050,000	27,935,030	-1,114,970
1	教 化 伝 道	29,000,000	27,821,555	-1,178,445
1	1 参 加 勤 行	17,500,000	16,796,520	-703,480
1	2 骨 灰 法 要	500,000	501,000	1,000
1	3 墨 蹟 展 覧	1,000,000	350,000	-650,000
1	4 護 摩 木 供 養	2,500,000	2,304,035	-195,965
1	5 花 ま つ り	2,500,000	2,870,000	370,000
1	6 観 光 推 進	3,000,000	3,000,000	0
1	7 世 界 文 化 遺 産	2,000,000	2,000,000	0
2	広 報 ・ 出 版	50,000	113,475	63,475
1	1 開 運 曆	50,000	113,475	63,475
3	寺 院 協 力 金	28,035,300	27,992,124	-43,176
4	雑 収 入	31,000	20	-30,980
1	雑 収 入	31,000	20	-30,980
1	1 運 用 収 入	1,000	20	-980
1	2 雑 収 入	30,000	0	-30,000
5	そ の 他 の 収 入	0	8,705	8,705
1	1 預 り 金 の 増 加	0	8,705	8,705
	合 計	61,024,229	60,153,308	-870,921

【歳出の部】

(単位：円)

款 項 目	科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
1	事 務 局 費	33,340,000	32,048,025	-1,291,975
1	1 人 件 費	23,400,000	22,870,847	-529,153
1	1 職 員 俸 給	18,500,000	19,396,967	896,967
1	2 厚 生 費	2,800,000	2,898,430	98,430
1	3 通 勤 費	600,000	575,450	-24,550
1	4 退 職 準 備 金	1,500,000	0	-1,500,000
2	管 理 費	7,240,000	6,467,129	-772,871
1	1 通 信 ・ 運 搬 費	700,000	543,058	-156,942
1	2 印 刷 費	350,000	232,473	-117,527
1	3 備 品 費	350,000	224,104	-125,896
1	4 消 耗 品 費	200,000	233,370	33,370
1	5 借 館 費	1,848,000	1,848,000	0
1	6 水 道 ・ 光 熱 費	200,000	164,403	-35,597
1	7 旅 費 ・ 交 通 費	1,000,000	907,239	-92,761
1	8 諸 会 負 担 金	900,000	800,700	-99,300
1	9 弁 護 士 報 酬	432,000	421,947	-10,053
1	10 会 計 士 報 酬	710,000	691,200	-18,800
1	11 営 繕 管 理 費	50,000	30,596	-19,404
1	12 そ の 他 諸 経 費	500,000	370,039	-129,961

(単位：円)

款 項 目	科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	
3	渉 外 ・ 旅 費	1,600,000	1,698,305	98,305	
	1 渉 外 費	800,000	903,643	103,643	
	2 慶 弔 費	500,000	464,210	- 35,790	
	3 交 際 費	300,000	330,452	30,452	
	4	諸 会 議 費	850,000	770,628	- 79,372
		1 単 仏 ・ 参 勤 会 議	150,000	105,000	- 45,000
	2	そ の 他 諸 会 議	700,000	665,628	- 34,372
	5	調 査 費	250,000	241,116	- 8,884
		1 資 料 収 集 費	250,000	241,116	- 8,884
	2	活 動 経 費	27,250,000	26,936,768	- 313,232
		1	教 化 伝 道 活 動	18,750,000	19,703,969
1 参 加 勤 行			8,200,000	8,251,291	51,291
2 骨 灰 法 要			1,600,000	1,634,881	34,881
3 墨 蹟 展			500,000	482,576	- 17,424
4 護 摩 木 供 養			800,000	788,220	- 11,780
5 観 光 推 進			1,500,000	1,698,796	198,796
6 仏 教 諸 行 事 関 連			1,000,000	1,166,264	166,264
7 花 灯 路 事 業			100,000	200,000	100,000
8 花 ま つ り			4,200,000	4,758,369	558,369
9 成 道 会			400,000	386,232	- 13,768
10 永 年 勤 続 表 彰			300,000	337,340	37,340
11 宝 物 展		150,000	0	- 150,000	
2		広 報 ・ 出 版 活 動	2,550,000	2,488,579	- 61,421
		1 曆 ・ 諸 出 版 他	200,000	213,652	13,652
		2 機 関 誌 発 行	2,300,000	2,231,547	- 68,453
3		ホ ー ム ペ ー ジ 運 営 費	50,000	43,380	- 6,620
3		そ の 他 事 業	5,950,000	4,744,220	- 1,205,780
		1 宗 教 と 政 治 問 題 研 究 活 動	1,500,000	1,182,005	- 317,995
		2 文 化 財 保 護 対 策 費	150,000	139,054	- 10,946
		3 世 界 文 化 遺 産	2,000,000	1,983,200	- 16,800
	4 明 日 の 京 都 補 助 金	200,000	200,000	0	
	5 古 都 税 記 録 集 補 助 金	200,000	265,516	65,516	
	6 古 典 の 日 フ ォ ー ラ ム 補 助 金	200,000	200,000	0	
	7 時 局 対 策 金	100,000	92,749	- 7,251	
8 未 払 い 金 の 減 少	1,600,000	681,696	- 918,304		
	予 備 費	434,229	0	- 434,229	
	次 期 繰 越 金	0	1,168,515	1,168,515	
	合 計	61,024,229	60,153,308	- 870,921	

別紙の通り報告します。

平成29年5月9日  
京 都 仏 教 会

理 事 長 有 馬 頼 底 印

理 事 (財 務 担 当) 大 西 真 興 印

事 務 局 長 長 澤 香 静 印

帳簿、証票書類を監査の結果、別紙の通り相違ないことを確認しました。

平成29年5月9日  
京 都 仏 教 会

監 事 山 木 康 稔 印

監 事 中 村 覚 祐 印

# 平成29年度 事業計画

## 〈総務部〉

〈\*は新規事業〉

1. 諸 会 議	1. 役員会 2. 各種会議 3. 各種委員会 4. 諸団体連絡会議 5. 懇親会	1. 理事会 年2回 2. 評議員会 年1回以上 1. 単位仏教会 年1回 2. 参勤僧会議 年3回以上 1. 宗教と政治検討委員会 年1回以上 2. 国家と宗教研究会 年2回以上 3. 各種委員会の設置 1. 全日本仏教会 2. 京都府宗教連盟 3. 近畿宗教連盟 4. 日本宗教連盟 5. 京都商工会議所 6. 京都市観光協会 7. 京都文化交流コンベンションビューロー 8. 宗教法学会 9. 明日の京都 文化遺産プラットフォーム 1. 懇親会 年1回
2. 広報・調査	1. 広 報 2. 調 査	1. 会報の刊行 年2回 2. 会員への情報提供（随時） （税務・環境問題・法人問題など） 3. 仏教会ホームページ運営 1. 各種調査・研究・統計・資料収集 （時事問題の分析）
3. 渉 外	1. 慶 弔 2. 渉 外	1. 慶弔（本山寺院及び一般関係） 1. 中央省庁・府市行政との交流 2. 京都にて開催の行事・国際会議等への協力
4. 時 事 対 策	1. 組織強化 2. 時事対策	* 1. 京都仏教会 一般財団法人化 2. 加入寺院・未組織地域の組織化 3. 賛助会員強化 * 1. 「日本会議」の研究

## 〈事業部〉

1. 仏教文化・調査・研究 広宣	1. 仏教文化の啓蒙・広宣・保護	1. 仏教文化の研究などの奨励・協賛 2. 京都文化財団との交流
2. 教化・伝道 事業	1. 仏教美術・文物紹介 2. 講演活動 3. 音舞台シリーズ 4. 仏教思想の実践活動	1. 仏教番組の企画監修 （毎日放送において「京都知新」、 「京都プロジェクト室」） 2. 大日本印刷「京都太秦文化遺産ギャラリー」の 監修 1. 各宗派管長による仏教文化講演会の全国開催 * 1. 本年度第30回は金閣寺にて開催 1. 地域福祉活動・青少年育成 （授産施設「のぞみ学園」、 福祉施設・仏教老人ホーム、保育園への慰問）

	<p>5. 仏教諸行事</p> <p>6. 合同慰霊行事</p>	<p>2. カウンセリング（信仰問題・情報提供）</p> <p>3. 文化財を守り伝える京都府基金</p> <p>4. 災害募金箱の設置（京都府文化財基金）</p> <p>1. お花まつり・こども花まつり</p> <p>2. 盂蘭盆会大護摩供法要・成道会</p> <p>3. 京の七夕神仏合同法要（清水寺）</p> <p>1. 参加勤行（中央斎場の読経僧派遣）</p> <p>2. 深草墓園（京都府宗教連盟共催）</p> <p>3. 春秋彼岸焼骨灰供養法要 （京都中央葬祭業協同組合共催）</p>
<p>3. 寺院運営 援助事業</p>	<p>1. 寺院援助活動</p> <p>2. 宗教法人法の研究・啓蒙活動</p> <p>3. 寺院運営研修案内</p>	<p>1. 宗教法人の財務・税務及び法律対策 （顧問弁護士・税理士の派遣）</p> <p>2. 永年勤続住職の表彰 （50年 知事表彰 30年 理事長表彰）</p> <p>3. 京都府伝統産業人材育成補助事業</p> <p>1. 各本山、地方の教区での宗教法人法に関する研修会への協力</p> <p>1. 包括宗教法人管理者研究協議会 宗教法人実務者研修会（文化庁）</p> <p>2. 人権研修会（京都府・全日仏）</p>
<p>4. 広報・出版 事業</p>	<p>1. 定期刊行物</p> <p>2. 研究小冊子発行</p>	<p>1. 会 報 年2回</p> <p>2. 開運暦・図書紹介</p> <p>* 1. 国家と宗教研究会講演録 —宗教法人設立認証と文化庁について—</p>
<p>5. その他 諸事業</p>	<p>1. 各種関連協議会</p>	<p>1. 文化遺産を未来につなぐ森づくりの為の有識者会議</p> <p>2. 外来種生物の文化財に与える影響について （関西野生生物研究所）</p> <p>3. 明日の京都文化遺産プラットフォーム （立命館大学）</p>

### 〈観光推進事業部〉

<p>1. 諸 会 議</p>	<p>1. 役員会</p> <p>2. 諸団体連絡会議</p>	<p>1. 観光推進事業部会議</p> <p>1. 京都市観光協会との会議</p> <p>2. 各種観光関連業界との会議</p>
<p>2. 関連事業</p>	<p>1. 事 業</p>	<p>1. 「京都・花灯路」事業（東山・嵐山界限）</p> <p>2. オフシーズン夏の企画第8回「京の七夕」 （京都府・京都市・京都商工会議所・京都市観光協会・京都文化交流コンベンションビューロー）</p> <p>3. 京都歴史遺産寺院企画（JR東海）</p> <p>4. 特別拝観企画の実施 （クラブツーリズムとの共同企画）</p> <p>5. 海外インバウンド特別拝観企画 （阪急阪神ビジネストラベル）</p> <p>6. 京都府内北部・南部観光開発（京都府と連携）</p>

## 平成29年度 一般会計予算書

当期歳入総額 64,084,815 円

当期歳出総額 64,084,815 円

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月 31日

## 【歳入の部】

(単位：円)

款 項 目	科 目	本年度予算額	昨年度予算額	備 考
	前 年 度 繰 越 金	1,168,515	707,929	
1	会 費 収 入	3,200,000	3,200,000	
1	会 費 ・ 賛 助 金	3,200,000	3,200,000	
1	一 般 寺 院 会 費	2,400,000	2,400,000	¥2,000(1口)
2	賛 助 会 費	800,000	800,000	¥3,000(1口)
2	活 動 協 力 金 収 入	29,550,000	29,050,000	
1	教 化 伝 道	29,500,000	29,000,000	
1	参 加 勤 行	17,500,000	17,500,000	
2	骨 灰 法 要	500,000	500,000	
3	墨 蹟 展	1,500,000	1,000,000	
4	護 摩 木 供 養	2,500,000	2,500,000	
5	花 ま つ り	2,500,000	2,500,000	
6	観 光 推 進	3,000,000	3,000,000	
7	世 界 文 化 遺 産	2,000,000	2,000,000	
2	広 報 ・ 出 版	50,000	50,000	
1	開 運 曆	50,000	50,000	
3	雑 収 入	31,000	31,000	
1	雑 収 入	31,000	31,000	
1	普 通 預 金 利 息	1,000	1,000	
2	雑 収 入	30,000	30,000	
	一 般 会 計 収 入 予 算 合 計	32,781,000	32,281,000	
	寺 院 協 力 金	28,135,300	28,035,300	
	財 団 設 立 預 金 取 崩	2,000,000		
	歳 入 合 計	64,084,815	61,024,229	

## 【歳出の部】

(単位：円)

款 項 目	科 目	本年度予算額	昨年度予算額	備 考
1	事 務 局 費	34,590,000	33,340,000	
1	人 件 費	25,100,000	23,400,000	
1	職 員 俸 給	19,500,000	18,500,000	事務局員3名 他2名
2	厚 生 費	3,000,000	2,800,000	社会保険料等
3	通 勤 費	600,000	600,000	
4	退 職 準 備 金	2,000,000	1,500,000	過去4期分
2	管 理 費	6,690,000	7,240,000	
1	通 信 ・ 運 搬 費	600,000	700,000	郵便・宅配便等
2	印 刷 費	300,000	350,000	コピー機保守料他
3	備 品 費	450,000	350,000	什器・車両関係
4	消 耗 品 費	200,000	200,000	

(単位：円)

款	項	目	科	目	本年度予算額	昨年度予算額	備 考
		5	借	館 費	1,848,000	1,848,000	事務所家賃
		6	水	道・光熱費	200,000	200,000	ガス・水道・電気
		7	旅	費・交通費	1,000,000	1,000,000	
		8	諸	会負担金	600,000	900,000	全日仏・府宗連等
		9	弁	護士報酬	432,000	432,000	
		10	会	計士報酬	710,000	710,000	
		11	営	繕管理費	50,000	50,000	
		12	そ	の他諸経費	300,000	500,000	
	3		渉	外・旅費	1,700,000	1,600,000	
		1	渉	外 費	900,000	800,000	
		2	慶	弔 費	400,000	500,000	
		3	交	際 費	400,000	300,000	
	4		諸	会 議 費	850,000	850,000	
		1	単	仏・参勤会議	150,000	150,000	
		2	そ	の他諸会議	700,000	700,000	
	5		調	査 費	250,000	250,000	
		1	資	料収集費	250,000	250,000	調査・研究を含む
2			活	動 経 費	29,490,000	27,250,000	
	1		教	化 伝 道 活 動	19,900,000	18,750,000	
		1	参	加 勤 行	8,500,000	8,200,000	参勤僧8名法礼等
		2	骨	灰 法 要	1,600,000	1,600,000	
		3	墨	蹟 展	500,000	500,000	
		4	護	摩 木 供 養	800,000	800,000	
		5	観	光 推 進	1,500,000	1,500,000	
		6	仏	教 諸 行 事 関 連	1,200,000	1,000,000	
		7	花	灯 路 事 業	200,000	100,000	
		8	花	ま つ り	4,200,000	4,200,000	こども花まつり・福祉施設配布等含む
		9	成	道 会	300,000	400,000	
		10	永	年 勤 続 表 彰	300,000	300,000	
		11	国	際 文 化 交 流 費	800,000		日中・日台・日伊交流
			宝	物 展		150,000	
	2		広	報・出版活動	2,550,000	2,550,000	
		1	暦	・諸出版他	200,000	200,000	
		2	機	関誌発行	2,300,000	2,300,000	年2回発行
		3	ホ	ームページ運営費	50,000	50,000	
	3		そ	の 他	7,040,000	5,950,000	
		1	宗	教と政治問題研究活動	1,500,000	1,500,000	国家と宗教研究会等
		2	文	化財保護対策費	150,000	150,000	文化財の森等
		3	世	界文化遺産	2,000,000	2,000,000	JR東海対談企画等
		4	明	日の京都補助金	200,000	200,000	
		5	国	家と宗教講演録補填金	200,000		
		6	時	局 対 策 金	100,000	100,000	
		7	財	団 設 立 準 備 金	2,000,000		
		8	未	払 金 の 減 少	890,000	1,600,000	
			古	都 税 記 録 集 補 助 金		200,000	
			古	典の日フォーラム補填金		200,000	
			予	備 費	4,815	434,229	
			歳	出 合 計	64,084,815	61,024,229	

## ● 仏教会報告 ●

## 諸 会 議

〔平成二十八年〕

◆ 明日の京都文化遺産  
プラットフォーム理事会

〔七月五日〕

明日の京都文化遺産プラットフォームによる平成二十八年度理事会が立命館朱雀キャンパスにて開催され、「平成二十八年度以降の役員選任」「平成二十七年事業報告・収支決算報告・会計監査」について、「平成二十八年事業計画・収支予算」について協議、承認された。

当会からは有馬頼底理事長が出席した。



## ◆ 京の七夕実行委員会・幹事会

〔七月二十日〕

京都商工会議所において、京の七夕実行委員会・幹事会が開催され、「平成二十八年度の事業内容」について討議された。

当会からは荒木元悦常務理事が出席した。

## ◆ 京都中央葬祭業協同組合通常総会

〔七月二十三日〕

京都中央葬祭業協同組合通常総会がホテルグランヴィア京都にて開催され、今後の課題等が話し合われた。

当会からは荒木元悦常務理事が出席した。

## ◆ 参勤僧会議

〔七月二十五日〕

現在参勤従事各宗派僧侶も充実し、斎場の勤行に日々精励いただいている。この日は南禅寺順正において、お盆期間の参勤体制が話し合われ、その後懇親会が行われた。

## ◆ 京都文化力プロジェクト実行委員会

〔七月二十八日〕

京都文化力プロジェクト実行委員会がホテルルビノ京都堀川にて開催され、「事業年次計画(案)」について検討された。

当会からは長澤香静事務局長が出席した。

## ◆ 京都府宗教連盟委員総会

〔七月二十九日〕

京都府宗教連盟委員総会が本年は金光教四条教会において開催された。総会は各宗教の相互理解を深める為、毎年開催されている。第一部の委員総会に次いで、第二部は「神さまと人を取り次ぐ『金光教』」と題し、金光教東近畿教務センター長落合真人氏による記念講演が行われた。

当会からは荒木元悦常務理事、北川隆法理事、中村寛祐監事、吉田清順評議員、田村祐一師らが出席した。



## ● 仏教会報告 ●

## ◆ 京都市歴史的景観保全に関する検討会

〔八月十八日〕

京都市は京都市歴史的景観保全に関する検討会を開催した。この検討会は京都の景観上重要な要素となる世界遺産、寺社等、その周辺の景観を保全するために必要な措置を具体化するにあたり、調査対象、方法、課題の抽出、対応策について意見聴取を行うことを目的とし、平成二十八年六月二十一日に設置。学識経験者、関係団体推薦者、市民公募委員から十二名の委員で構成され、任期は平成二十九年三月三十一日まで。

当会から長澤香静事務局長が委員として出席した。

## ◆ 近畿宗教連盟平成二十八年度常任理事会

〔八月二十二日〕

近畿宗教連盟平成二十八年度常任理事会が立正佼成会京都普門館において開催された。熊本地震犠牲者慰霊の黙祷後、役員交代等の報告の後、「第六十八回兵庫総会開催要項」「平成二十七年事業報告・平成二十七年会計決算報告ならびに会計監査報告」「平成二十八年度事業計画（案）平成二十八年度予算（案）」「平成二十八年度本部役員」について審議され、承認された。

当会からは荒木元悦常務理事、長澤香静事務局長が出席した。

## ◆ 東京都宗教連盟幹事会

〔八月二十四日〕

東京都宗教連盟幹事会が東京・櫻井事務所にて開催された。当会の国家と宗教研究会の委員である櫻井園郎氏は東京都宗教連盟の

顧問もされている。今回の幹事会は東京都宗教連盟総会の討議事項について話し合わせ、当会は今後の相互交流をめざし、オブザーバー参加として長澤香静事務局長が出席した。

## ◆ JR委員会

〔八月三十日〕

（社）京都市観光協会によるJR委員会が京都東急ホテルにおいて開催された。

「平成二十七年事業報告並びに決算報告」「平成二十八年度事業計画案並びに予算案」について協議され、承認された。

当会からは、吉田清順評議員が出席した。

## ◆ 京都観光宣伝協議会総会

〔八月三十日〕

JR東海「京都観光宣伝協議会」の総会が京都東急ホテルにおいて開催された。「平成二十七年事業報告・収支報告並びに監査報告」「平成二十八年度事業計画案・収支予算案」「役員改選の件」について審議され、承認された。

当会からは、吉田清順評議員が出席した。

## ◆ 宗教法人関係者南部地域・北部地域人権問題研修会

〔九月二日・七日〕

京都府と京都府宗教連盟共催による平成二十八年度宗教法人関係者人権問題研修会が九月二日みやづ歴史の館中央公民館（北部地域）、九月七日京都府立総合社会福祉会館（南部会場）において開催された。

## ● 仏教会報告 ●

「悲しみに寄り添いながら」～臨  
床宗教師の活動を通して～と題し、  
龍谷大学文学部教授鍋島直樹氏によ  
る講演が行われ、北部、南部会場と  
もに宗教関係者や檀信徒らが参加  
し、熱心に聞き入った。引き続き、  
啓発ビデオ「人権のヒント地域編」  
～「思い込み」から「思いやり」へ  
～が上映された。  
当会からは、荒木元悦常務理事、  
長澤香静事務局長が出席した。



### ◆ 第一回歴史的景観の保全に関する検討会

〔九月二十一日〕

京都市は第一回歴史的景観の保全に関する検討会をキャンパスプラザにて開催した。委員紹介後、検討会の目的・役割の説明があり、座長・副座長が選任された。議題として、これまでの取組、「歴史的景観の保全に関する取組方針（案）」に対する市民意見募集、今後のスケジュール、景観規制の充実等に向け意見交換が行われた。  
当会からは長澤香静事務局長が出席した。

### ◆ 京都文化力プロジェクト実行委員会第二回理事会

〔十月五日〕

京都文化力プロジェクト実行委員会第二回理事会が京都プライトンホテルにて開催された。京都文化力プロジェクト二〇一六―二〇二〇実施

計画（総論）（案）が発表され、文化芸術事業を府内で展開し、東京五輪に向けて、発信強化に皆で取り組んで行きたいと京都府知事、市長が話す一方で、実行委員の理事からは「京都のまちそのもの美しさを整える必要がある」という意見が出された。  
当会からは坂口博翁理事が出席した。

### ◆ 大阪府仏教徒大会

〔十月十四日〕

第五十一回大阪府仏教徒大会がホテル日航大阪にて開催された。はじめに、全国災害物故者追悼法要、大阪府仏教会会員物故者追悼法要が営まれ、続いて、「心のすがた」と題し、清水寺貫主 北法相宗管長 森清範下による講演会が行われた。  
当会からは荒木元悦常務理事が出席した。

### ◆ 近畿宗教連盟

#### 平成二十八年度兵庫総会

〔十月十七日〕

第六十八回近畿宗教連盟平成二十八年度兵庫総会がホテルオークラ神戸にて開催された。開会セレモニーの後、第一部定期総会が開催され、「平成二十七年事業報告・会計決算報告ならびに会計監査報告」「平成二十八年度事業計画（案）・予算（案）」「平成二十八年度本部役員」について審議され、承認された。第二部は後藤俊彦氏（高千穂神社宮司）を講



## ● 仏教会報告 ●

師に招き「神仏の道を求めて」と題し、記念講演が行われた。  
当会からは、荒木元悦常務理事、吉田清順評議員、長澤香静事務局長  
らが出席した。

## ◆ 全日本仏教婦人連盟大会

〔十月十九日〕

第六十三回全日本仏教婦人連盟大会がパレスホテル東京において開催された。櫻井よしこ氏による記念講演会後、全日本仏教尼僧法団のもと、法要が執り行われた。会長等の挨拶、来賓祝辞に続き、インド・光明施療院を支援する事を目的に集められた二十八年度写経一五〇〇巻の目録が国際仏教興隆協会に贈呈された。

## ◆ 京の七夕実行委員会幹事会

〔十一月七日〕

京の七夕実行委員会第三回幹事会が京都商工会議所にて開催された。議題として「平成二十八年度事業報告」「京の七夕絵はがき短冊売上等の寄付」「来年度の開催日程」について意見交換が行われた。  
当会からは荒木元悦常務理事が出席した。

## ◆ 文化遺産を未来につなぐ森づくりの為に有識者会議

〔十一月十七日〕

文化遺産を未来につなぐ森づくりの為に有識者会議が東京スクワール麹町にて開催され、同会議の解散、及び一般社団法人化設立に伴う有識者会議継承手続きの件について協議、承認された。  
当会からは長澤香静事務局長が出席した。

## ◆ 京都・花灯路推進協議会幹事会

〔十一月十七日〕

京都・花灯路推進協議会幹事会が京都商工会議所にて開催された。  
議題として「嵐山花灯路全体指揮・責任体制及び通信連絡体制(案)」「嵐山花灯路オープンイベント(案)」について協議され、主要業務発注状況、証明器具等貸出状況について報告された。  
当会からは荒木元悦常務理事が出席した。

## ◆ 文化遺産を未来につなぐ森づくりの為に有識者会議総会

〔十一月二十三日〕

文化遺産を未来につなぐ森づくりの為に有識者会議平成二十八年度総会が東京大学農学部弥生講堂にて開催され、同会議の解散、及び一般社団法人化設立について審議承認された。その後「江戸城天守閣と名古屋城本丸御殿」建築木材と森づくりと題し、シンポジウムが開かれた。  
当会からは長澤香静事務局長が出席した。

## ◆ 第二回歴史的景観の保全に関する検討会

〔十一月二十四日〕

京都市は第二回歴史的景観の保全に関する検討会を京都市職員会館にて開催し、「歴史的景観の保全に関する取組方針(案)」に関する市民意見募集の結果及び「守っていききたい歴史的景観」に関する提案募集の結果が報告された。また「景観規制の充実に向けた考え方の整理」「歴史的景観の保全に関する取組方針」について討議がなされた。  
当会からは長澤香静事務局長が出席した。

## ● 仏教会報告 ●

### ◆「地震火災から文化財を守る協議会」幹事会

〔十一月二十四日〕

地震火災から文化財を守る協議会幹事会が立命館大阪キャンパスにて開催され、協議会最後の幹事会となるこの日は、十月二十二日に島根県で開催された第二十回地震・火災フォーラム、近況について報告等が行われた。平成九年に発足、年一回で開催したフォーラムは二十回を迎え、今回の開催をもって活動を終了した。

当会からは長澤香静事務局長が出席した。

### ◆大阪府宗教連盟理事総会

〔十一月二十八日〕

大阪府宗教連盟理事総会が念法真教総本山金剛寺にて開催された。「平成二十七年事業報告」「平成二十七年会計・特別会計報告・監査報告」「平成二十八年度予算案」が審議、承認された後『儒教における「喪」』を演題に大阪大学名誉教授加地伸行氏による講演会が行われた。

当会からは長澤香静事務局長が出席した。

### ◆東京都宗教連盟宗教法人運営実務協議会

〔十一月二十九日〕

東京都宗教連盟宗教法人運営実務協議会がカトリック東京大司教区関口会館にて開催された。この協議会は宗教の社会的役割を認識し、宗教法人制度のあり方、宗教法人意識の徹底とその事務能力の向上を図り、宗教法人の管理、運営の適正化を趣旨としており、東京都宗教連盟六団体から百二十四名が参加した。京都仏教会宗教と政治検討委員会委員・宗教経営研究所所長櫻井閑郎氏によるパネルディスカッションも行われ

た。

当会からは長澤香静事務局長が参加した。

### ◆京都府宗教法人関係者人権問題研修会

〔十一月三十日〕

京都府、京都府宗教連盟と同和問題に取り組む京都府宗教者連絡会議（京都同宗連）共催による平成二十八年度宗教法人関係者人権問題研修会がハートピア京都において開催された。「これからの部落問題」を演題に、ジャーナリスト角岡伸彦氏による講演後、「真宗大谷派の取り組み」と題し京都教区同和協議会会長川端裕敬氏より活動報告がなされ、最後に啓発映画―あなたに伝えたいこと―が上映された。

当会からは荒木元悦常務理事が出席した。



### ◆参勤僧会議

〔十二月五日〕

現在参勤従事各宗派僧侶も充実し、斎場の勤行に日々精励いただいている。この日は南禅寺順正において、年末年始の参勤体制が話し合われ、その後忘年会が行われ懇親を深めた。

## ● 仏教会報告 ●

### ◆ 第十六回国家と宗教研究会

〔十二月十日〕

国家と宗教研究会を承天閣美術館にて開催した。洗建駒沢大学名誉教授を講師にむかえ、ネット通販大手アマゾンの「お坊さん便」が社会的反響を呼んでいる現状を踏まえ、「宗教と商行為」をテーマに討論。洗氏はベット供養や超宗派の納骨堂への課税を容認したり、納骨堂を焼骨の「収蔵施設」とみなすような判決が相次いでいることを指摘。「企業が宗教であろうと何であろうと利益が見込める分野に進出する状況で宗教者側が企業活動に取り込まれる形で宗教行為の商品化が進むのは極めて危険だ」と論じ、さらに宗教法人が超宗派の納骨堂ビル運営を企業に委ねるケースを例示。課税庁や司法が「固有の教義」に基づくもの以外を当該法人の宗教活動ではないとする不当性を言及。宗教者、宗教団体に対しては「企業と関わりを持つ場合も宗教としての主体性を失ってはいけない」と警鐘を鳴らした。



### ◆ 京都府「技の継承」事業専門家会議出席

〔十二月十五日〕

京都府「技の継承」事業専門家会議が祇園山鉾連合会にて開催され、二十八年度の進捗状況、二十九年度の候補物件について報告、検討された。当会からは長澤香静事務局長が出席した。

### ◆ 京都テロ対策ネットワーク総会

〔十二月十五日〕

京都テロ対策ネットワーク総会が京都府警察本部別館にて開催された。警備部長の挨拶の後、新規参画予定団体の承認、新規対策部会設置報告、京都府国民保護共同実動訓練説明、警察における国際テロ対策の説明、平成二十八年度上半期サイバー攻撃情勢の説明がなされた。当会からは長澤香静事務局長が出席した。

### ◆ 第三回歴史的景観の保全に関する検討会

〔十二月二十日〕

京都市は第三回歴史的景観の保全に関する検討会を京都市職員会館にて開催した。議題として「歴史的景観の保全に関する具体的施策（素案）」「景観への影響が大きい建築計等に対する対策」について検討された。当会からは長澤香静事務局長が出席した。

### 〔平成二十九年〕

### ◆ 全日本仏教会主催不活動宗教法人対策会議

〔二月十八日〕

全日本仏教会主催不活動宗教法人対策会議が東京・都道府県会館にて開催され、宗教と政治検討委員会委員櫻井園郎氏が出席した。文化庁から不活動宗教法人対策について、意義、手続きについて説明、対策への協力依頼、有識者による講演を通じて、事例等の研究、手続きや方策等の指導を行うなどの提言を受けたが、この対策についてはそれなりの費用もかかることから簡単には処理できない状況であり、宗教団体、とく

## ● 仏教会報告 ●

に包括宗教団体に責任を転嫁しようとしているのではないか。京都仏教会としては、この問題を機会あるときに提起しながら、個別の宗派ごとに対応していくことが現実的である。との報告を受けた。

## ◆ ICOM京都大会二〇一九京都推進会議

〔二月三十一日〕

ICOM京都大会二〇一九京都推進会議が平安神宮にて開催された。二〇一九年に世界博物館会議が京都で開催されることを受けての事前会議であり、「京都推進委員会要項」「役員選出」「ICOM京都大会報告」「京都推進委員会事業計画」について説明があり、それぞれ承認された。当会からは長澤香静事務局長が出席した。

## ◆ 京都花灯路推進協議会・幹事会

〔二月八日〕

京都花灯路推進協議会・幹事会が東山区総合庁舎にて開催された。まず嵐山花灯路二〇一六について、第九回創作灯デザインコンペ審査結果、照明器具等貸出状況について報告され、続いて「東山花灯路二〇一七事業計画(案)」「東山花灯路全体指揮・責任体制及び通信連絡体制(案)」「オープニングイベント(案)」「平成二十九年年度京都・花灯路事業開催日程(案)」「主要業務の発注(案)」について協議された。当会からは、荒木元悦常務理事が出席した。

## ◆ 第四回歴史的景観の保全に関する検討会出席

〔二月九日〕

京都市は第四回歴史的景観の保全に関する検討会を京都市国際交流館

にて開催した。議題として「歴史的景観の保全に関する具体的施策」について検討された。当会からは長澤香静事務局長が出席した。

## ◆ 文化庁移転準備会議・

## 文化庁京都誘致協議会幹事会合同会議

〔二月十三日〕

文化庁の受入体制の構築を図るため、文化庁移転準備会議・文化庁京都誘致協議会幹事会合同会議が京都商工会議所にて開催された。四月に新設された「地域文化創生本部」の事務局の構成が明らかにされ、山田道夫文部科学戦略官より説明を受けた。文化庁は二〇一九年度以降に京都市に移転の予定。地域文化創生本部はこれに先行して、文化政策の研究機能の充実、文化芸術資源を観光や産業、まちづくりに生かす事業を実施する。

当会からは坂口博翁理事が出席した。

## ◆ 全日本仏教会人権問題連絡協議会

〔三月一日〕

全日本仏教会人権問題連絡協議会が東京・明照会館にて開催され、「朝鮮半島出身の旧民間徴用者等の遺骨返還問題」について政府機関(内閣官房・外務省・厚生労働省)より担当者招聘し、進捗状況、現状について説明を受けた。しかし、政府側からの説明に何の進展もなく、全日本仏教会側からは厳しい意見が相次いだ。

当会からは長澤香静事務局長が出席した。

## ● 仏教会報告 ●

### ◆ 明日の京都文化遺産プラットフォーム主催 「古都京都の文化財」ネットワーク会議

〔三月八日〕

明日の京都文化遺産プラットフォーム主催「古都京都の文化財」ネットワーク会議が立命館大学朱雀キャンパスに於いて開催された。京都市景観政策課 上原智子氏が「歴史の景観の保全に関する取組方針」について講演。歴史的資産の敷地や周辺地域での景観への影響が懸念される建築計画について、京都市は事前協議の義務化、制度を検討中であり、今までの経緯とあわせ説明を受けた。続いて、文化庁文化財調査官 梅津章子氏が「日本文化の保存と活用」をテーマに講演。日本の文化遺産の価値を適切に伝えること、京都の素晴らしい取組が世界に伝えられていない現実に発信することの重要性について述べた。



当会からは長澤香静事務局長が出席した。

### ◆ 京都府「技の継承」事業専門家会議

〔三月二十一日〕

京都府「技の継承」事業専門家会議が祇園祭山鉦連合会にて開催され、「平成二十八年度事業の報告及び平成二十九年度の候補物件」について審議された。

当会からは中尾香代事務局長が出席した。

### ◆ 京都市観光協会理事会

〔三月二十三日〕

京都市観光協会理事会が、京都ブライhtonホテルにて開催された。議案事項として「平成二十九年度事業計画案」「平成二十九年度予算案」「平成二十九年度資金調達及び設備投資の見込み」「平成二十九年度資金運用執行方針及び計画案」「平成二十九年度定時総会開催」「J R委員会の委員補欠選任案」について審議された。

当会からは、荒木元悦常務理事が出席した。

### ◆ 京都文化交流コンベンションビューロー評議員会

〔三月三十日〕

公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー評議員会が、京都商工会議所にて開催された。

議案事項として、「理事の選任に関する件」「平成二十九年度事業計画に関する件」「平成二十九年度収支予算に関する件」「平成二十八年度収支算の補正に関する件」について審議された。続いて、「名誉顧問・顧問の再任」「就業規定の一部改正」「平成二十八年度の業務実施状況」について報告された。

当会からは、荒木元悦常務理事が出席した。

### ◆ 全日本仏教会宗派代議員会議、都道府県仏教会・仏教団体代議員会議

〔三月三十日〕

全日本仏教会宗派代議員会議、都道府県仏教会・仏教団体代議員会議がしんらん交流館大谷ホールにて開催された。事務総局より「厚生年金

● 仏 教 会 報 告 ●

問題」「包括宗教法人の監督責任及び使用者責任に関する問題」「仏教に関する意識調査」「大規模災害時における寺院の役割を果たす為の取組」について議題報告がなされた後、各議題順に質疑応答が行われた。当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆ 京の七夕実行委員会・幹事会

〔四月二十七日〕

京の七夕実行委員会・幹事会が京都商工会議所にて開催された。「平成二十九年年度幹事会体制案」「平成二十九年年度事務局体系案」「平成二十八年年度支決算報告（監査報告）」「平成二十九年年度収支予算」「平成二十九年年度事業計画」について報告、審議され、承認された。当会からは、荒木元悦常務理事が出席した。

◆ 京都府宗教連盟  
平成二十九年年度  
第一回常任委員会

〔五月十九日〕

京都府宗教連盟は、常任委員会を立正佼成会京都普門館にて開催した。

平和祈念の黙祷後、議案として「平成二十八年年度事業報告と会計決算・会計監査報告」「平成二十九年年度事業計画と予算案」「平成二十九年年度委員総会開催要項案」について審議され、異議なく承認された。続いて「平成



二十八年年度本部役員（任期三年目）」「平成二十九年年度深草墓園慰霊祭奉仕団体確認「常任委員の交代」について報告された。当会からは、荒木元悦常務理事、中村寛祐監事、長澤香静事務局長らが出席した。

◆ 第十七回国家と宗教研究会

〔五月二十一日〕

第十七回国家と宗教研究会を相国寺承天閣美術館において開催した。今回は、上智大学大学院教授島蘭進氏が「日本会議と神社本庁」をテーマに講演し、現在も戦前の「国家神道」が影響力を持ち続けており、「日本全体の急速な右傾化」と立憲主義の危機に警笛をならした。「明治の日」復活の動きや、首相の伊勢神宮参拝、立憲主義を再び制限しようとする勢力の動向などに触れ、「国家主義や排外主義の危険性を仏教の立場から議論すべき」と述べた。他の参加者からも戦前回帰の傾向や、立憲主義の軽視に危機感を覚えるとの意見があり、出席した宮城泰年常務理事は、研究会でただ学び、議論で終わりにすることなく、積極的に政府、社会に仏教者として発信し、行動していかなくてはならないと述べた。



◆ 全日本仏教会加盟団体説明会「厚生年金問題について」  
「仏教に関する意識調査について」

〔五月二十三日〕



## ● 仏教会報告 ●

宗団法人への厚生年金加入促進関する動きが全国的に広がりを見せる中、現況把握するため厚生労働省年金局事業管理課 厚生年金保険適用徴収専門官濱村明氏を講師に招き、説明会がしんらん交流館大谷ホールにて開催された。

当会からは中尾香代事務局長が出席した。

### ◆ 社会を明るくする運動京都府推進委員会

〔五月二十五日〕

第六十七回「社会を明るくする運動」京都府推進委員会がハートピア京都にて開催された。

第六十六回「社会を明るくする運動」京都府推進委員会実施結果報告・収支決算、第六十七回「社会を明るくする運動」京都府実施要綱(案)・行事計画(案)・収支予算(案)について審議、承認された。

引き続き、構成機関・団体から取組発表及び今後の活動の報告等が行われた。

当会からは、吉田清順評議員が出席した。

### ◆ 第九十三回理事会

〔六月八日〕

第九十三回理事会が、京都仏教会会議室にて開催され、以下の議案について満場一致で承認された。

議案第一号平成二十八年年度事業報告及び平成二十八年年度決算報告の承認を求める件。

議案第二号京都仏教会の一般財団法人化について承認求める件。

議案第三号「宗教と社会」研究実践センターについての件

議案第四号平成二十九年度事業計画案及び平成二十九年度予算案につ

いての承認を求める件

議案第五号京都市の歴史的景観の新制度である事前協議義務導入についての件

議案第六号京都市の新税導入の為の有識者委員会答申案についての件

続いて、本年度音舞台、「ネパール」「虹の家」義援金贈呈、「古都税の証言」刊行、京都府伝統産業育成事業、第八回京の七夕開催について報告された。

### ◆ 京都市観光協会定時総会・理事会

〔六月十三日〕

京都市観光協会定時総会がリーガロイヤルホテル京都にて開催された。

議案事項として、「平成二十八年年度事業報告・決算報告」「役員の新補欠選任」について審議、承認された。

また、「平成二十九年度事業計画・予算案」について報告された。引き続き、観光事業関係者表彰が行われた。

総会終了後、理事会が開催され、「常務理事の選定」「委員会委員の選任」について審議された。

当会からは、荒木元悦常務理事が出席した。

### ◆ 京都文化交流コンベンションビューロー評議員会

〔六月二十一日〕



## ● 仏教会報告 ●

公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー評議員会が、京都平安ホテルにて開催された。

議案事項として、「評議員の選任に関する件」「理事・監事の選任に関する件」「平成二十八年事業報告・決算に関する件」「平成二十九年収入支予算の補正に関する件」について審議された。  
当会からは、荒木元悦常務理事が出席した。

## ◆ 京都・花灯路推進協議会第一回幹事会

〔六月二十六日〕

京都・花灯路推進協議会第一回幹事会が東山区総合庁舎にて開催された。「東山花灯路―二〇一七―平成二十八年度灯りの催事奨励事業」についての報告の後、「平成二十九年体制」「平成二十八年収入支予算」「平成二十九年事業計画及び収支予算」「平成二十九年事業年間スケジュール」「主要業務の発注」「第十回「創作行灯デザインコンペ」について協議され、最後に今年度の協賛金の勧募について説明された。  
当会からは荒木元悦常務理事が出席した。

◆ 一般社団法人自然環境文化推進機構  
第一回理事会・総会

〔六月二十八日〕

一般社団法人自然環境文化推進機構第一回理事会・総会が京都事務所（即成院）において開催された。はじめに「理事再任の件」「新理事承認の件」「平成二十九年事業計画（案）」「前年度決算報告」「本年度予算計画（案）」について審議され、続いて「第三回自然環境文化推進フォーラムの内容」「東京会合開催」「庭園調査」「助成金申請」「京都御苑他環境省との協働事業の検討」「中期の事業の展開」について協議された。

最後に「東京事務局の閉鎖」「月一回の事務局会議の開催」「京都御苑、環境省との共催事業の報告」「共済事業 紀伊山地三霊場会議フォーラムの報告」「環境省北海道での田丸理事の講演報告」について報告、確認、依頼がなされた。

当会からは長澤香静事務局長が出席した。

## ◆ 平成二十八年度理事・評議員合同役員会

〔六月三十日〕

平成二十九年年度理事・評議員合同役員会を相国寺承天閣美術館にて開催し、次の議案が満場一致で承認された。

議案第一号平成二十八年事業報告及び平成二十八年年度決算報告の承認を求める件

議案第二号京都仏教会の一般財団法人化について承認求める件

議案第三号「宗教と社会」研究実践センターについての件

議案第四号平成二十九年事業計画案及び平成二十九年年度予算案についての承認を求める件

議案第五号京都市の歴史的景観の新制度である事前協議義務導入についての件

議案第六号京都市の新税導入の為に有識者委員会答申案についての件  
続いて、本年度音舞台、ネパール「虹の家」義援金贈呈、「古都税の証言」刊行、京都府伝統産業育成事業、第八回京の七夕開催について報告された。



## 行 事

〔平成二十八年〕

## ◆「平安京羅城門模型移設プロジェクト」記者会見

〔七月四日〕

明日の京都文化遺産プラットフォームによる「平安京羅城門模型移設プロジェクト」の記者会見がメルパルク京都・地階羅城門模型前にて行われ、平安建都千二百年記念事業で制作された羅城門の十分の一サイズの模型を京都の玄関口である京都駅北口広場に移設・展示することが発表された。



## ◆スリランカ訪問

〔七月十日～十七日〕

宮城泰年常務理事を団長とする訪問団がスリランカを訪れ、スリランカ政府の宗教大臣と司法大臣を兼務するラジャバクサ氏を表敬訪問した。善き人と良き縁を得た著名な仏歯寺の僧侶の方々との交流や数々の仏教遺跡を訪ねる旅であった。

## ◆文化財保存・復元技術展特別セミナー

〔七月二十二日〕

一般社団法人日本能率協会主催「第二回文化財保存・復元技術展」が東京ビッグサイトにて三日間開催され、最終日に特別セミナーで有馬頼底理事長が「文化財の愛護」について講演した。当会からは長澤香静事務局長も出席した。

## ◆第六十六回法隆寺夏季大学

〔七月二十七日〕

法隆寺において七月二十六日から四日間夏季大学が開催された。法隆寺は聖徳太子の理想に基づく「一仏大乘」の聖地にして、日本仏教の源流でもあり「法隆寺問寺」と称されることから、多数の一般市民の参加もあり毎年夏季に開催され今回で六十六回目となる。

今回、当会が後援し臨済宗南禅寺派管長中村文峰師が「世間虚假唯佛是真」と題し、第四講を務めた。会場は溢れる人々で満堂となり、熱心にメモをとる姿が多く見られた。

## ◆西村克己さんお別れ会

〔七月二十七日〕

三十年前の音舞台の初回から実現に向けて奔走された、毎日放送の取締役故西村克己氏のお別れ会が、この日大阪阪急インターナショナルホテルに於いて行われた。五月十八日に出張先で突然亡くなられ、五六歳の若さであったことと人柄を慕う全国からの有縁の人々が多数訪れた。祭壇には有馬頼底理事長からの「夢」と書かれた額装が供えられた。

## ● 仏教会報告 ●

### ◆ 京の七夕開会式

〔八月六日〕

「一年に一度願い事をする」という七夕にちなんで「願い」をテーマに京都の夏の風物詩「京の七夕」が開催された。

七回目を迎えた今夏は堀川・鴨川会場の他に新たに四カ所の会場が加わり、幻想的なイルミネーションで彩られ、連日多くの来場者が短冊に願い事を書く等、多彩な行事を楽しんだ。

期間中、清水寺をはじめ高台寺・圓徳院・六道珍皇寺・清明神社・貴船神社・八坂神社・石清水八幡宮・北野天満宮の各寺社において特別拝観等行われた。

### ◆ たなばた願文お焚き上げ・孟蘭盆会採燈大護摩供法要

〔八月十六日〕

京都府神社庁と京都仏教会による「たなばた願文お焚き上げ」が清水寺南苑にて執り行われた。

聖護院門跡宮城泰年門主を導師、吉田神社三木善則宮司を齋王に、神職と修験者が出仕し、全国から寄せられた短冊（たなばた願文）のうち約一万枚が盛大に焚き上げられ、それぞれの思いが託された。

続いて、本年度で第二十七回を迎えた恒例の当会主催孟蘭盆会採燈大護摩供法要が営まれた。

本年も福祉施設で作成された護摩木約二万本に皆様の願いが書かれ、お盆送り火のこの日に供養された。

願いを書いた護摩木を自らの手で火中に投じた参拝者らは、それぞれの思いを込めて熱心に手を合わせていた。その列は次から次へと切れることなくいつまでも続いた。



### ◆ 萬福寺音舞台

〔九月三日〕

二十九回を迎える「音舞台」は現在、当会及び毎日放送主催、大和証券グループの協賛、日本航空の協力を頂きシリーズ化された。今では古都における文化的価値のある催しとして広く知られるところとなった。

本年は音舞台十三年ぶりの黄檗山萬福寺で開催され、大雄宝殿前特設ステージではウエルズ出身で新世代のクラシカルクロスオーバーの歌姫キャサリン・ジェンキンス、日本を代表するギターリスト村治佳織、中国の至宝「ヤン・リーピン歌劇団」からヤン・ウー、そして多数の映画やドラマの音楽を手掛ける作曲家で今回音楽監督である村松崇継等、世界で活躍するアーティスト達が万華鏡のように煌めきながら響演を繰り広げ、二千名の観衆を魅了した。

### ◆ 京都市深草墓園秋季慰霊祭

〔九月十一日〕

京都市主催の秋季慰霊式典と遺族会主催の同慰霊法要が開催された。慰霊式典では、門川大作京都市長の式辞にはじまり、京都市議会議長及び遺族代表の弔辞、遺族代表による献花が執り行われた。引き続き行われた慰霊法要では、真言宗泉涌寺派総本山御寺泉涌寺の奉仕による法要が行われ、般若理趣経の読経に合わせて、約千人の遺族が次々と焼香を行い、故人の冥福を祈った。

なお、京都市深草墓園は京都市のお墓として昭和三十三年七月に



## ● 仏教会報告 ●

開設され、永年納骨と短期納骨の取り扱いとして市民の利用に供しており、現在では約一万五千体の御霊が宗教宗派の区別なく合祀されている。今回で百十七回を数える。

当会からは長澤香静事務局長らが出席した。

## ◆ 建仁寺「桑」フォーラム

〔九月二十五日〕

NPO法人京都マルベリー協会が大本山建仁寺において桑の魅力を京都から発信しようと「桑」マルベリーフォーラムを開催した。

「喫茶養生記」でお茶同様桑の効用などを伝えた建仁寺栄西禅師の遺徳を顕彰しようと今年で十二回目。

建仁寺派庶務部長浅野全雄師が「喫茶養生記」に書かれた桑の効用や食し方を紹介した。

当会からは、荒木元悦常務理事、長澤香静事務局長が出席した。

## ◆ 秋季彼岸焼骨灰供養法要

〔九月二十六日〕

秋彼岸にあたり浄土宗西山禅林寺派総本山永観堂禅林寺本堂において京都仏教会、京都中央葬祭業協同組合の共催による恒例の秋彼岸供養法要が営まれた。

浄土宗西山禅林寺派久我儼昭宗務総長の法話の後、浄土宗西山禅



林寺派管長中西玄禮猊下導師のもと山内ご出仕により彼岸供養法要が厳修された。

爽やかな秋晴れのもと、約千五百人もの参拝者を迎え、御影堂に溢れるほどの列は庭まで長く続き、この半年間にお亡くなりになられた故人をしのぶ焼香の列は長く続いた。

## ◆ 宗教と科学・技術

〔十月一日〕

立命館大学理工学部主催「宗教と科学・技術懇話会」が大本山大覚寺にて開催された。「科学・技術は私たちに何をもちたらし、科学者や研究者は、科学・技術にどのように向き合うべきか」という問いに対し、宗教との交流を通して何かを見出したいとの趣旨から開催され、今回で四回目。法話、寺内拝観、写経、講演後、意見交換・パネルディスカッションが行われた。

## ◆ 「若冲の京都 KYOTO の若冲」展開会式・特別内覧会

〔十月三日〕

京都市美術館において、江戸時代の絵師伊藤若冲の生誕三百年を記念した展覧会「若冲の京都 KYOTO の若冲」の開会式・特別内覧会が開催された。京都だからこそ生まれた自由奔放な作品が披露され、十二月四日までの期間中約百二十点が紹介された。

当会から吉田清順評議員が出席した。

## ◆ 東福寺新管長原田融道老師晋山開堂式

〔十月十二日〕

臨済宗東福寺派大本山東福寺第三〇五世、無伽室原田融道住職・東福寺派管長の晋山開堂式が同寺にて営まれた。遠藤楚石前管長をはじめ相国、建仁、大徳、天龍、円覚、方広、黄檗、永源など臨黄各宗派管長、

## ● 仏教会報告 ●

専門道場師家、宗務総長や、他宗派要職者、京都府知事、京都市長、東福寺関係者ら約六百五十人が参列した。  
当会からは長澤香静事務局長が参列した。

### ◆ 古典の日フォーラム二〇一六

〔十一月一日〕

「古典の日フォーラム二〇一六」がロームシアタ京都にて開催され、「古典の日」が制定されて五年目となるのを記念し、活動の原点にあたる源氏物語をテーマに、講演や交響曲の上演が行われた。当会が協賛し、役員も多数会場に足を運んだ。

### ◆ 薬師寺村上太胤管主就任晋山奉告法要

〔十一月二十日〕

薬師寺村上太胤管主就任晋山奉告法要が同寺大講堂前にて営まれた。村上太胤管主は九歳の時に出家得度。薬師寺での生活は六十年に及び、岐阜別院住職、薬師寺執事長、法相宗宗務長を歴任。今年八月に薬師寺管主を継承。

当会からは荒木元悦・佐分宗順常務理事、長澤香静事務局長らが参列した。

### ◆ 鹿苑寺開山夢窓国師・開基鹿苑院殿毎歳忌法要

〔十一月二十一日〕

鹿苑寺開山夢窓国師・開基鹿苑院殿毎歳忌法要が同寺にて営まれた。当会からは坂口博翁理事、長澤香静事務局長が参列した。

### ◆ 平安京羅城門模型設置記念式典

〔十一月二十一日〕

明日の京都文化遺産プラットフォーラムは平安京羅城門模型設置記念式典を京都駅前北口広場にて開催し、関係者約百人が出席した。千玄室実行委員会会長は「羅城門は京都の象徴。長い間地下に眠っていた羅城門が新しい京都の遺跡として大きな役割を果たせば」と挨拶した。

当会からは有馬頼底理事長が出席し、京都府知事、市長らとともにテープカットを行った。

### ◆ 成道会・永年勤続表彰

〔十二月七日〕

お釈迦さまのお悟りになられた遺徳を偲び、当会主催による成道会が総本山泉涌寺にて厳修された。

泉涌寺上村貞郎長老御導師、御一山僧侶の出仕、当会役員随喜のもと舍利殿にて厳かに法要が営まれた。

続いて永年勤続五十年住職表彰の知事表彰、三十年理事長表彰が行われ、京都府よりそれぞれに賞状と記念品が授与された。

表彰式の後には本坊客殿にて祝宴が営まれ、表彰者を代表して五十年表彰の閑臥庵住職岡田真季師から「長



● 仏 教 会 報 告 ●

くも短くも感じる五十年、これからも神仏に感謝し、住職の道を行きたい。」と謝辞が述べられた。尚、表彰を受けられた方々は次のとおり。

● 永年勤続住職知事表彰者（五十年）		
岡田真季師	閑臥庵	黄檗宗
永井準雄師	浄心寺	浄土宗西山禅林寺派
日下俊精師	如圓寺	西山浄土宗
● 永年勤続住職会長表彰者（三十年）		
家永宜勝師	天真院	黄檗宗
三輪恭明師	融雲寺	浄土宗西山禅林寺派
稲垣雅明師	念佛寺	浄土宗西山禅林寺派
津村正玄師	安樂寺	浄土宗西山禅林寺派
恒川恭典師	蓮華寺	西山浄土宗
伊藤順芳師	来迎寺	西山浄土宗
原田観昭師	安樂寺	西山浄土宗
天岡雄栄師	元性院	真言宗大覚寺派
高岡義寛師	西明寺	真言宗大覚寺派
坂口博翁師	覚勝院	真言宗大覚寺派
成田大航師	圓覚寺	曹洞宗
大江文童師	大信寺	臨濟宗妙心寺派
尺下順彦師	常樂寺	曹洞宗
車 浩真師	林泉寺	曹洞宗

◆ 大阪市仏教会結成七十周年記念祝賀会

〔十二月七日〕

大阪市仏教会結成七十周年記念祝賀会がホテル日航大阪で開催され、当会から荒木元悦常務理事、長澤香静事務局長が出席した。

◆ 京都・嵐山花灯路開幕式

〔十二月九日〕

この日から十二月十八日までの十日間、嵯峨・嵐山界隈で「京都・嵐山花灯路」が開催された。

この「嵐山花灯路」は京都の活性化と観光振興に寄与するため二十一世紀の新たな風物詩としての「京都・花灯路」をと、京都府、京都市、京都商工会議所、京都文化交流コンベンションビューロー、京都市観光協会、京都仏教会などが参画して京都花灯路推進協議会を結成、すでに定評となった「東山花灯路」に続く事業は今年で十二年目。

期間中各種催しが開催され、また、周辺社寺においても夜の特別拝観も行われた。午後五時から午後八時三十分の間点灯され、期間中百十九万人の観光客らが初冬の夕暮れ散策を楽しんだ。

◆ 明日の京都文化遺産プラットフォーム主催 第六回フォーラム

〔十二月二十一日〕

明日の京都文化遺産プラットフォームは立命館大学朱雀キャンパスホールにて第六回フォーラム「羅城門く未来への遺産を考える」を開催した。村井康彦氏（国際日本文化研究センター名誉教授）による基調講演後、土岐憲三氏（立命館大学教授）の羅城門十分の一復元模型をJ-R京都駅北口に移送、展示した経過報告、次に金剛龍謹氏他（金剛流若宗家）による半能の上演、最後に「未来への遺産を考える」をテーマにパネルトークが行われた。

当会からは長澤香静事務局長が出席した。



## ● 仏教会報告 ●

### ◆ 京都府立京都学・歴史館オープニング記念式典

〔十二月二十三日〕

これまで五十年余り府民に親しまれてきた京都府立総合資料館が京都学・歴史館として生まれ変わり、記念式典が開催された。オープニングでは、平安雅楽会による舞楽「賀殿」が披露された。当会からは長澤香静事務局長が出席した。

### 〔平成二十九年〕

### ◆ 西陣織工業組合新年総会

〔二月六日〕

西陣織工業組合の、平成二十九年新年会総会が西陣織会館にて開催された。

同組合は、明治十六年に西陣織物業組合として発足。また、昭和四十八年、旧西陣三組合（西陣織物工業組合・西陣着尺織物工業組合・西陣毛織工業組合）が合併。この新年総会は、知事、市長をはじめ各界の代表者らが参集し、毎年盛大に行われる。

当会からは、荒木元悦常務理事、長澤香静事務局長が出席した。

### ◆ 墨蹟展開催

〔二月十六日～四月十三日〕

当会は聖護院門跡のご協力により墨蹟展を開催した。期間中、拝観の多くの方々が墨蹟を通して仏教の教えにふれると同時に京表具の書を生かす表具の伝統についても理解する良い機会となった。

### ◆ 文化財を守り伝える京都基金緑陰講座

〔二月二十二日〕

京都府文化スポーツ部文教課開催の「文化財を守り伝える京都基金」緑陰講座が三千院門跡にて開催された。「文化財を守り伝える京都基金」に寄付された方々が招待され、「枠を破る」と題し、三千院門主堀澤祖門師の講話、続いて国宝「阿弥陀三尊像」を安置する往生極楽院の拝観が行われた。

### ◆ JR東海「天龍寺に想いを寄せて」世界遺産対談

〔二月二十四日〕

東海旅客鉄道（株）の特別協賛を得て、明日の京都文化遺産プラットフォームフォーラム・京都市・京都市観光協会・京都文化交流コンベンションビュローの後援のもと、当会主催による世界遺産対談「天龍寺に想いを寄せて」を開催した。今回は、茶の湯文化とも縁が深く歴史的建造物・庭園等多くの文化財がある天龍寺を会所に宗務総長田原義宣師と同じく臨済宗で通称人形寺としても有名な宝鏡寺門跡住職田中恵厚師による対談が行われ、百二十名余りの参加者は熱心に耳を傾けた。この講演に伴い特別拝観も行った。



### ◆ 京都中央葬祭業協同組合新年会

〔二月二十八日〕



## ● 仏教会報告 ●

京都中央葬祭業協同組合は、多くの本山が集中する京都で全国の葬祭業の中心となって活動しており、当会とは永きにわたり春秋彼岸の焼骨灰供養法要を共催で執り行っている。本年もきのぶにて新年会が開催された。

当会からは荒木元悦常務理事、長澤香静事務局長が出席した。

### ◆ 大本山妙蓮寺貫首松下日肆師本葬

〔二月五日〕

昨年十二月十九日に八十二歳で遷化された妙蓮寺貫首松下日肆師の本葬が妙蓮寺にて営まれた。当会行事にも積極的に参加され、宗門外でも世界宗教平和会議日本委員会の評議員・理事、京都府更生保護協会評議員等を努め、平和、核廃絶を強く願ひ、諸宗教対話に尽くした故人を多くの参列者が偲び別れを惜しんだ。

### ◆ 韓国仏教文化事業団来訪

〔二月九日〕

韓国仏教文化事業団が宮城泰年常務理事を訪問した。  
韓国が全土に渡って、仏教への深い理解と観光促進も含め、テンプルステイを推進することの広報アピールの為にと、京都仏教会の理解と広報協力を求めた。

### ◆ 京都東山花灯路二〇一七オープニング

〔三月三日〕

歴史的な文化遺産やまちなみ等を「灯り」と「花」で演出する早春の風物詩「京都・東山花灯路」が三月三日から十二日の間、京都東山界隈で

開催された。

京都の活性化と観光振興に寄与するための「京都・東山花灯路」は今回で十五年目を迎え、市民観光客に京都の新たな風物詩として定着した。期間中、百十一万人の来場者を迎え盛況となった。また、清水寺・青蓮院をはじめ知恩院・八坂神社・高台寺・圓徳院・法観寺の各寺社において、夜間拝観が行われた。

### ◆ 深草墓園春季慰霊祭

〔三月十八日〕

春の日差しの中、京都府神社庁の御奉仕により伏見深草墓園において春季慰霊式典が厳かに執り行われた。

千名を超える大勢の遺族が参拝に訪れ、次々と手を合わせ故人の冥福を祈った。

京都市深草墓園は「市民のお墓」として昭和三十三年七月に開設され、今回で一一八回になる。永年納骨と短期納骨の取扱いとして市民の利用に供しており、現在では約一万五千体の御霊が宗教宗派の別なく合祀されている。

当会からは、荒木元悦常務理事が出席した。



### ◆ NGOネパール「虹の家」災害支援金贈呈

〔三月二十二日〕

## ● 仏教会報告 ●

京都仏教会会議室に於いて荒木元  
悦常務理事よりNGOネパール「虹  
の家」代表理事福谷真知子氏にネパ  
ール大地震の災害支援金百万円が贈  
呈された。大地震によって家や親を  
亡くした子供らへの直接支援を届け  
る事業であり、今回で二回目とな  
る。福谷代表からはネパール支援を  
今後も続ける為、日本においてシン  
ポジウムの開催や演奏会を通してア  
ピールをしていきたい旨の発言があ  
り、当会でも引き続き支援を行うこ  
ととなった。

### ◆ 春季彼岸焼骨灰供養法要

〔三月二十八日〕

春彼岸にあたり日本禅二宗の一つ、  
臨済宗建仁寺派大本山建仁寺方丈にお  
いて京都仏教会、京都中央葬祭業協同  
組合の共催による恒例の春彼岸供養法  
要が営まれた。

臨済宗建仁寺派布教師雲林院宗碩師  
の法話に続き、臨済宗建仁寺派管長小  
堀泰巖殿下導師のもと、山内出仕によ  
り彼岸供養法要が厳修された。

春の日差しの中、約千五百人ももの参  
拝者を迎え、この半年間にお亡くなり  
になられた故人をしのぶ焼香の列は後  
を絶たなかった。

この焼骨灰供養法要は永年回を重ね、  
今回で百九回目を数えるに至った。



### ◆ おしゃかさまを 讃える夕べ

〔四月八日〕

ANAクラウンプラザホテル京  
都にて催された「おしゃかさまを  
讃える夕べ」は各本山・寺院・各  
界代表の方々約四百二十名が参集  
した。本年は洛東真如堂奥村貫主  
導師のもと天台宗京都教区の出仕  
により「花まつり」法要が厳修さ  
れた。

花御堂には京都府知事、京都市  
長ら各界代表が次々と灌仏を行っ  
た。

挨拶に立った有馬頼底理事長  
は、「世界が危険な方向に向かっ  
ている今日、己以外の考え方は間  
違っているという自我を消しなさ  
い。という基本的立場の仏教は平  
和の教えとして最も有効である。」  
と述べた。

続いて、「廃仏棄釈泉涌寺の場  
合」と題して、映画監督の篠田正  
浩氏が記念講演を行い、「仏教や  
神仏習合は本来寛容。世界で求め  
られているのは寛容の精神。」と  
語った。またその後は会食に入  
り、花まつりにふさわしく和やか  
な歓談がいつまでも続いた。

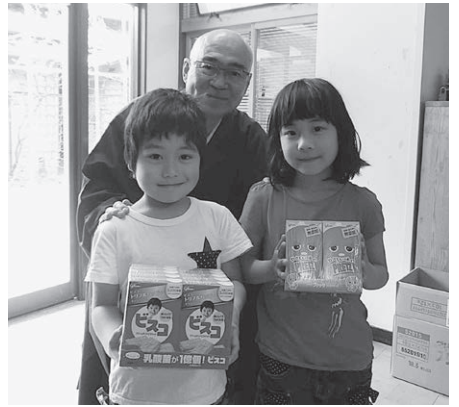


## ● 仏教会報告 ●

## ◆ こどもはなまつり

〔四月二十一日〕

はなまつり月間の一環として本年もこどもはなまつり事業が行われた。江崎グリコ(株)、ライオン(株)にご協力頂き、京都仏教保育園協会を通じ、三十の仏教系保育園へ。また、六ヶ所の福祉施設へも多くの寄贈の品々が贈られた。配布された菓子類に各園では子どもたちの喜ぶ姿が随所に見られた。



## ◆ 京都仏教幼稚園協会はなまつり園児大会

〔四月二十六日〕

京都仏教幼稚園協会による「はなまつり園児大会」が、みやこめっせにて開催された。

各園児をはじめ父兄約二千人が集い、讃仏歌(ののさま・ねね)斉唱、献灯献華、三帰依文(パーリー語) 斉唱、灌仏、讃仏歌(こどもの花まつり) 斉唱が行われた。

当会からは、長澤香静事務局長が出席した。

## ◆ 安養寺開山恵心僧都源信和尚一千年御遠忌法要

〔四月二十九日〕

安養寺開山恵心僧都源信和尚一千年御遠忌法要が安養寺において営まれた。有縁の各宗派寺院や信者が多数参列した。

当会からは長澤香静事務局長が参列した。

## ◆ 慈照寺開山忌法要

〔五月二十一日〕

慈照寺開山忌法要が慈照寺において営まれた。当会からは坂口博翁理事、長澤香静事務局長が参列した。

## ◆ 三千院御懺法講法要

〔五月三十日〕

過去の罪業を反省し、心を清らかにする三千院御懺法講法要が三千院宸殿にて営まれた。教文旋律をつけて唱える声明が雨上がりの境内に響き渡り、約二百九十人の参列者が古儀にのっとり再現した宮中法会を静かに見守った。

当会からは、荒木元悦常務理事、長澤香静事務局長が参列した。

## ◆ 清水寺国家安泰世界平和祈願献花祭

〔六月二日〕

清水寺において、石清水八幡宮と日本古来の神仏の習合にならって営む「国家安泰世界平和祈願献花祭」が執り行われた。導師は森清範清水寺貫主、斎王は田中恆清石清水八幡宮宮司。

この神仏合同の祭儀は、平成十五年十一月に清水寺の奥之院御本尊開帳を記念した「国家安泰世界平和祈願祭」から毎年実施、十七年からは献花祭の名称でこの時期に行われている。

当会からは、長澤香静事務局長が出席した。

寺院会費

当会もおかげさまをもちまして仏教諸行事、文化福祉、研究活動等順調にかつ積極的に推移してきております。これもひとえにご寺院各位のご理解ご協力の賜物と存じます。今後はますます京都が宗教都市として発展しつづけるために、布教・広宣を行い、また多様化する現代社会の情報提供や宗教法人に関する諸問題につきましてもお役に立てるようはかつて参りたいと存じます。つきましては通信費の一部として平成二十九年~~度~~分の会費を同封の郵便振替にてご納入の程、よろしくお願い申し上げます。

賛助会費

各界一般会員のみなさまにおかれましてはご健勝のことと存じます。平素は何かと本会の活動に対し、ご理解、ご協力賜り厚く御礼申し上げます。おかげをもちまして賛助会員につきましては年々増え続けておりまして有り難いことと存じます。当会も各界のみなさまとともにこの歴史と伝統のある京都において様々に交流や文化事業を通じ、よりよい京都に発展すべく努力して参りたいと存じます。当会の会報を年二回お送り申し上げますことや諸行事のご案内をみなさまとの情報交換の場とし、今後も活動をしてゆきたいと存じます。各位におかれましては、なにとぞこの趣旨にご賛助賜り平成二十九年~~度~~分の賛助会費のご納入をよろしくお願い申し上げます。次第でございます。なおご納入は同封の郵便振替にてよろしくお願ひ申し上げます。

平成27年4月より京都仏教会事務所が下記へ移転致しました

新住所

〒602-0898

京都市上京区今出川通烏丸東入ル相国寺門前町 636-1

TEL 075-223-6975・FAX 075-223-6976

《番地のみ変更になりました》

開運曆

檀信徒配布等にご利用下さい。

1部 価格85円

(郵送いたします)

申し込みは

京都仏教会

TEL 075-223-6975

発行日 平成二十九年八月九日

発行所 京都仏教会

〒602-0898 京都市上京区今出川通

烏丸東入相国寺門前町

六三六一一

電話 (〇七五)二三一六九七五

FAX (〇七五)二三一六九七六

印刷所 (株) 精巧社

社寺建築設計施工

# 伸和建設株式会社

代表取締役 北尾行弘

〒615 京都市右京区西院上花田町21  
-0007 (西大路三条西入ル南側)  
電話 075-311-0054 (代表)  
FAX 075-322-0152

筆・墨・硯・紙・簡易表装・短冊  
色紙・中国製筆・墨・硯・紙

# 株式会社 松 棊 園

〒600-8075  
京都市下京区柳馬場通仏光寺下ル  
電話 (075) 351-6380 (代表)  
FAX (075) 361-8006

京念珠® 各宗珠数 各種玉類 製造卸

弊店は珠数製造卸業です。小売は行って居りません。

京都・中珠数屋町  
株式会社 **神 戸 珠 数 店**

〒600-8153 京都市下京区正面通丸東入  
電話 (075) 371-3929(代)  
FAX (075) 371-3930  
定休日 日曜・祝祭日・第二第四土曜



**全 石 社 北 尾 石 材**  
URL: [www.good-stone.com](http://www.good-stone.com)  
大原店/八瀬店/市原野店/京北店  
TEL: 075-781-9523 FAX: 075-781-0510  
〒606-8225 京都市左京区東大路百萬遍上る東側

## お墓の事ならなんなりと

一般建設業の許可：京都府知事 許可（般-23）第 3 8 9 1 7 号



石のカウンセラー  
株式会社 **石 杖 都**

みやこ

遠近を問わず  
お伺い致します  
(見積り無料)

ヨクソ ヨイイシ  
☎ (075)491-4114(代) FAX (075)491-2426

京都市北区小山北玄以町24番地（上賀茂橋西詰バス停前）





世界の歴史都市、  
京都の中央に位置し、  
世界文化遺産「二条城」の前に佇む  
ANA クラウンプラザホテル京都。



### ANAクラウンプラザホテル京都

〒604-0055 京都市中京区堀川通二条城前  
Tel 075-231-1155  
www.anacpkyoto.com



## 伝統の心を映した 古都のやすらぎ

ご宿泊や、おくつろぎのひとつに  
また、会合などさまざまなお集まりに、  
お気軽にご利用ください。

ご予約・お問い合わせは

◆東急ホテルズ予約センター◆

東京予約センター Tel.(03)3462-0109  
札幌予約センター Tel.(011)533-1090  
名古屋予約センター Tel.(052)202-1090  
大阪予約センター Tel.(06)6314-1090  
福岡予約センター Tel.(092)262-1099



### 京都 東急ホテル

〒600-8519 京都市下京区堀川通五条下ル(西本願寺北側)  
Tel: 075-341-2411 Fax: 075-341-2488  
www.kyoto-h.tokyuhotels.co.jp

## 借地管理でお困りではありませんか？

弊社では、顧問弁護士 橋口 玲 他、司法書士、土地家屋調査士、  
宅地建物取引士などの専門スタッフを揃え、円滑な借地管理の  
お手伝いをさせて頂いております。現在、管理実績は700戸越えです。

●ご相談・資料請求は無料です。お気軽にお問い合わせ下さい。

## 株式会社 玄武管財

TEL 075-411-1214 / FAX 075-411-1241  
京都市上京区相国寺門前町 647 番地 1  
E-mail: info@kyoto-genbu.co.jp  
http://www.kyoto-genbu.co.jp/



お葬式 家族葬

# 公益社

本 社 / 京都市中京区烏丸通六角上ル ☎ 0120-004-200


公益社京都宇治大津 検索

## ブライツホール

北ブライツホール [堀川紫明] 山科ブライツホール [五条外環]  
 中央ブライツホール [五条東山] 烏丸ブライツホール [烏丸高辻]  
 南ブライツホール [油小路八条] 向島宇治ブライツホール [宇治槇島]  
 西ブライツホール [五条西大路] 大津ブライツホール [大津駅南]

## 葬 儀

— 人生の終り、もうひとつの門出を美しく —



# あんん祭典

もよりの営業所へご連絡ください。(24時間営業)  
 寝台自動車のご用命も承ります。

京都営業所 ☎ (075) 682-4444  
 宇治営業所 ☎ (0774) 32-4242  
 向日営業所 ☎ (075) 921-4444  
 大津営業所 ☎ (077) 524-4444  
 亀岡営業所 ☎ (0771) 22-0042

経済産業大臣認可 / 全日本葬祭業協同組合連合会加盟  
**京都中央葬祭業協同組合員名簿**  
<http://www.kyosokyoku.jp/>



信頼と安心の  
**全葬連 葬祭サービスガイドライン**  
 ●事前相談 ●サービス内容の説明 ●明瞭価格 ●アフターサービス  
 京葬協は、葬祭サービスガイドラインを遵守いたします

会 社	代 表 者	電 話	所 在 地
㈱ まる い ち	小林 静男	075-441-6254	上京区千本上立売通作庵町518
浅井 厚生社	浅井 宣壹	075-811-3821	中京区旧二条通千本西入ル
㈱ 京 都 日 葬	九谷田満雄	075-811-4242	中京区西ノ京塚本町13-11
花 安 吉 村 和		075-463-7276	中京区西ノ京御輿岡町20
㈱ 公 益 社	松井 昭憲	075-221-4000	中京区烏丸六角上饅頭屋町608
㈱京都せしモノー	松井 昭憲	075-221-8400	中京区烏丸六角上饅頭屋町608
㈱公益サービスセンター	松井 信五	075-551-3422	東山区清閑寺山ノ内町46-2
篤 政	滝口 泰彦	075-691-0826	南区竹田街道大石橋上ル西側
洛王せしモノー㈱	北村 憲司	075-933-4242	南区久世高田町35-3
あ め 直	阪邊賢津子	075-611-0400	伏見区京町六丁目54-1
㈱のじり葬儀店	野尻 智美	075-611-4211	伏見区治部町123
㈱ 山 長	山田 一	075-861-1422	右京区太秦西蜂岡町1
㈱ ア シ ス	岡本 研三	075-932-4242	向日市寺戸町西田中瀬3

会 社	代 表 者	電 話	所 在 地
㈱ 乙 訓	菜島 康男	075-952-1520	長岡京市奥海印寺東山15-7
㈱城陽葬祭杉村	杉 村 等	0774-52-2140	城陽市久世南垣内116
㈱宇治葬祭篤辰	木村 久孝	0774-31-8072	宇治市五ヶ庄芝の東53
山城葬祭佛現丸屋	小川 保善	0774-82-2064	綴喜郡井手町井手柏原83-2
花 福	福田 善文	0774-82-2016	綴喜郡井手町井手宮ノ本89
㈱ 阪 口	阪 口 仁	0774-76-2146	木津川市加茂町駅西1-5-3
平 城 公 益 ㈱	西川 弘人	0774-72-5709	木津川市相楽鳥井7-1
㈱ 松本仏具店	松本 光雄	0771-22-0279	亀岡市安町86
㈱ い ち た に	一谷 和弘	0771-62-4949	南丹市園部町小山東町水無38
㈱せしモノーまつだ	松田 政一	0772-46-2264	与謝郡与謝野町宇弓木956
おのえメモリアル	尾上 康則	0772-42-5555	与謝郡与謝野町箕所229-1
㈱ 向 井 葬 祭	向井 文男	0772-72-2002	京丹後市網野町網野3156

最近のお葬式はどのように行われているか、また、費用はいくら位かかるか!? など、お葬式の内容を知りたい方は、上記の各店へ電話でお問い合わせ下さい。



住所/京都市左京区下鴨西本町26-2  
 営業時間/ (都合により変更する場合があります)  
**17:00~22:00**  
 お問い合わせ/  
**075-722-3405**  
 Produced by **おのみや亭本舗**

鉄板焼き・天婦羅  
 一玄  
 いっけん

文化財修理・保存／文化財調査／絵画・墨蹟・一般表具一式  
 御本山御用達 古文化財保存修理研究所 (有)矢口浩悦庵

京表具 **こう えつ あん**  
**浩悦庵**

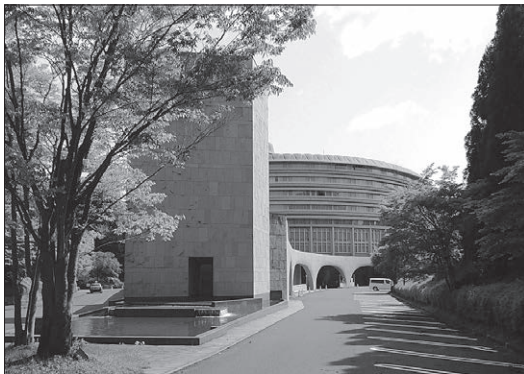
〒602-8025 京都市上京区衣棚通丸太町上る今葉屋町 318 番地  
 Tel.075-254-6021/Fax.075-254-6022 <http://www.koetsuan.com>



いつも新しい感動を  
**京都ブライトンホテル**

京都ブライトンホテルは京都御所の西、閑静な住宅街にあります  
 ここは、かつて千利休や樂長次郎が行き交ったであろう文化の中心地  
 この場所にふさわしく、新しい文化発信基地となるよう  
 よりよい商品とサービスを提供し続けてまいります

 〒602-8071 京都市上京区新町通中立売(御所西)  
 Tel.075-441-4411(代) Fax.075-431-2360  
 京都ブライトンホテル <http://www.brightonhotels.co.jp/kyoto>



京都洛北 四季の彩りと静寂に つつまれて  
**グランドプリンスホテル京都**

洛北の豊かな自然の中で  
 ごゆっくりと京情緒をお楽しみください。

 **グランドプリンスホテル京都**  
 〒606-8505 京都府京都市左京区宝ヶ池 TEL:075-712-1111



でかける人を、ほほえむ人へ。 **西武グループ**



心和むひととき…… JUNSEI

名物ゆどうふ

南 禅 寺

順 正

左京区南禅寺門前 TEL (075) 761-2311  
FAX (075) 751-8812

清水順正おかべ家  
清水寺門前……TEL (075) 541-7111  
祇園円山かがり火  
円山公園駐車場前…TEL (075) 541-0002

京表具

表具全般 古書画修復

前田秀畹堂

〒604-8121  
京都市中京区柳馬場通錦小路上る  
TEL.FAX. 075 (221) 5754

石塔  
石工事  
記念碑



株式  
会社

石 寅®

石工事・土木工事・造園工事（京都府知事認可）

本 店 (〒616-8376) 京都市右京区嵯峨天竜寺瀬戸川町1-10  
電話 (075) 881-1481 番 FAX (075) 881-1480 番  
新丸太町店 (〒616-8305) 京都市右京区嵯峨広沢御所ノ内町33-2  
電話 (075) 882-2124 番 FAX (075) 882-2128 番  
丹波営業所 (〒622-0211) 京都府船井郡京丹波町上野中野31-1  
電話 (0771) 82-2681 番 FAX (0771) 82-2751 番  
京丹波店 (〒622-0213) 京都府船井郡京丹波町須知天神18-1  
電話 (0771) 89-1481 番 FAX (0771) 89-1480 番  
石寅ホームページ URL: <http://www.ishitora.co.jp/>

精進料理

上 う え 幸 こう

〒604-8503 京都市中京区大宮通り錦上ル  
電 話 (075) 821-3872  
(075) 821-3837

税理士法人 古都

〒600-8431  
京都市下京区綾小路通室町西入る  
善長寺町139番地AMI四条烏丸ビル405号  
TEL・FAX: 075 (352) 7778  
E-mail: [nakamasa@bridge.ocn.ne.jp](mailto:nakamasa@bridge.ocn.ne.jp)

文化財建造物修復・社寺建築設計施工

木澤工務店

代表取締役社長 木澤善之

代表取締役会長 木澤源平 専務取締役 木澤善和

本 社 京都市左京区浄土寺真如町111番地-1  
TEL (075) 751-0628 (代) FAX (075) 752-9430  
営業所・工場 滋賀県愛知郡愛荘町中宿173番地  
TEL (0749) 42-2859 (代) FAX (0749) 42-5727

授与品・記念品・その他一式

井筒授与品店

フリニ TEL 0120-075-820  
ダイヤル FAX 0120-075-890

〒601-8348  
京都市南区吉祥院観音堂町23番地  
E-Mail: [izutsu5@iz2.co.jp](mailto:izutsu5@iz2.co.jp)

